

東京放射線

2012年1月
Vol.59 No.691

1月号綴じ込み
“書面表決” 投函のお願い



社団法人 東京都放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

卷頭言 年頭所感 篠原健一

第62回社団法人東京都放射線技師会定期総会

新春のつどい

第7回日暮里塾ワンコインセミナー

第10回ウインターセミナー

会告彰 東京都功労者表彰

新春企画 「篠原会長インタビュー」

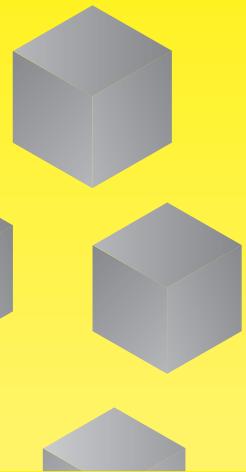
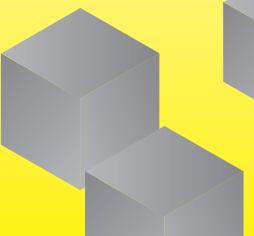
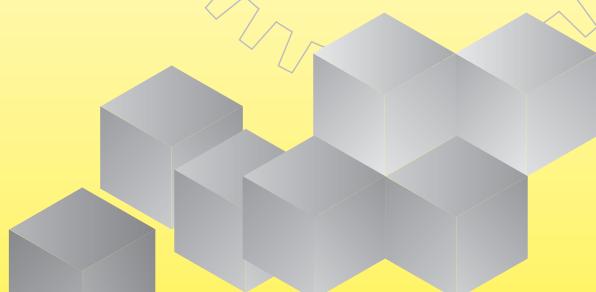
総会資料 第1号議案 平成24年度事業計画（案）

第2号議案 平成24年度予算書（案）

第3号議案 新定款修正（案）

連載 放射線治療 吉野慎一

—プラチナ会員制度のお知らせ



CONTENTS

目次

平成23年度 スローガン

三、二、一、チーム医療の推進
生涯教育・専門教育の推進
地球環境と調和した画像診断技術の向上

はがき 第62回定期総会議事の表決について	
謹賀新年	4
巻頭言 年頭所感	5
会告1 第62回（社）東京都放射線技師会定期総会	6
会告2 新春のつどい	7
会告3 第7回日暮里塾ワンコインセミナー	8
会告4 第10回ウインターセミナー	9
会告5 第45回きめこまかな生涯教育	10
東京都功労者表彰	11
平成24年新春企画「篠原会長インタビュー」	13
東放技 執行部・委員会紹介（編集部）	19
第62回定期総会資料	20
・第1号議案 平成24年度事業計画（案）	
1.統括	
2.定款に基づく本会の事業	
・第2号議案 平成24年度予算書（案）	24
・第3号議案 新定款修正（案）	26
連載 誌上講座 放射線治療 「第7回 食道・腹部治療」	吉野慎一 30
こえ	
・「サンマークシティーまちびらき」印象記	池田麻依 33
・「サンマークシティーまちびらき」に参加して	長石亜希子 34
・「中央区健康福祉祭り」に参加して	安田知子 35
NEWSひろい読み	36
お知らせ	
・多摩支部研修会	38
・第12地区研修会	39
パイプライン	
・MRI advanced technology seminar	40
・超音波画像研究会	41
・第34回 消化管造影技術研修会	42
・社団法人 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第44回放射線部会学術集会	44
・日本消化器画像診断情報研究会 第24回東京大会	46
・日本消化器画像診断情報研究会 第2回セミナー開催	47
第7回理事会報告	48
平成23年11月期会員動向	50
プラチナ会員制度のお知らせ	51
プラチナ会員入会申込書	53

謹賀新年

平成24年 元旦

本年もよろしくお願ひいたします

卷頭言



年頭所感

会長 篠原健一

平成24年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申しあげます。

平素は本会事業の推進につきまして、ご理解ご協力をいただき深く感謝申しあげますとともに、本年も倍旧のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年早々ではありますが、手放しで初春を祝うなどするような、昨年は実に大変な年であったという思いです。日本のみならず世界中で様々な苦難・試練が降りかかりました。未曾有の大震災と原子力災害、各地の水害等、あらためてお見舞いを申し上げます。

さて、私たちは互いに拮抗する“板ばさみ”的問題を多く抱えています。「経済と温暖化」「開発と生物多様性」「エネルギーと原子力」「市場と内政」「景気と増税」などです。

静かに深く溜め込まれたエネルギーが解放されたり、新たな枠組みの構築が求められたりするような出来事が世界中で噴出しました。自然災害、欧州金融不安、中東の春、格差社会に対する不満、円高、TPP（環太平洋経済連携協定）など、震災・原子力災害からの復興と合わせ、私たちの社会・生活は根底から転換しなければなりません。

TPP一つ取り上げても、時勢に応じた新しい通商ルールが不可欠とする人々と、個別利益や制度を守ろうという人々でほぼ国論を二分しています。まだ「協定参加」ではなく「交渉参加」の地ならしの段階から農業を中心に医療界からも大反対論となっており、昨年10月26日の日経「春秋」には幕末になぞらえて、「尊王攘夷ならぬ尊農攘夷」ということが書かれていきました。TPPによる例外なき関税撤廃（の可能性？）は、ある種の産業にとっては大いなる脅威かもしれません、少子高齢化・人口減少・デフレスパイアル・GDPの落ち込み・安全保障問題（中国の脅威）など国が萎んでいくような昨今的情勢を考えると、政治には国の将来展望を見据えた新しい理念の提示が求められます。

地球環境問題に代表されるように、私たちの社会は大きな転換点にあるということがいえます。竹村真一氏は「地球の目線～環境文明日本ビジョン（PHP新書）」で、“自然を改造・支配することに人間の尊厳を見出してきた西欧近代的な「人間中心主義」でも、逆に人間を「地球のガン」とみて 卑屈に人間を排除する「自然保護主義」のエコロジー思想でもない、第三の人間観と文明観を構築するチャンスを迎える。”とし、レスター・R. ブラウン氏は「プラン B3.0～人類文明をすくうために（ワールド ウォッチ ジャパン）」で“社会主義は経済の真実を市場に反映させなかつたために崩壊した。資本主義は地球の生態系の真実を反映させえないために崩壊するかもしれない。”としています。

身近な言葉の中にも“思考の転換”といえるようなものがよく見受けられるようになりました。「防災から減災」「耐震から免震」「省エネから創エネ」等々です。

今年は本会にとって「公益社団法人移行」という転換もあります。物事を延長線上（目前の視点）ではなく、るべき姿（未来）に対して今何をすべきか考えなければならないと思っています。

会 告

1

第62回 (社) 東京都放射線技師会定期総会 開催の件

本会定款第21条に基づき下記の通り、第62回社団法人東京都放射線技師会定期総会を開催いたします。

記

開催日 平成24年3月3日（土）

受付 午後 13時30分～
総会 午後 15時00分～

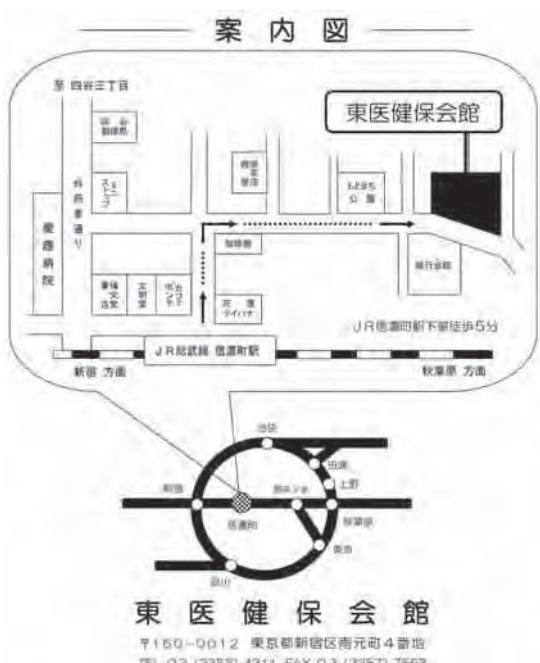
会場 東医健保会館
〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地 TEL 03-3353-4311

交通 JR総武線信濃町駅下車徒歩5分

議事 第1号議案 平成24年度事業計画（案）
第2号議案 平成24年度予算書（案）
第3号議案 新定款修正（案）

以上

(社) 東京都放射線技師会
会長 篠原 健一



お願ひ

- 「東京放射線」1月号に「第62回定期総会議事の表決について」及び「委任状」を掲載いたしました。総会に出席できない方は、必要事項を記入の上、必ずご投函お願いします。
- 定期総会議事について書面表決された方は、「委任状」への記入は不要です。
- ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」1月号、2月号を持参してください。
- 本会告をもって案内状といたします。多数の会員の出席をお願いいたします。

“新春のつどい”のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交説を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成24年1月6日（金）

受付 18時00分～

開宴 18時30分～20時00分

開催場所：「ホテルラングウッド」

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

JR日暮里駅南口下車 徒歩1分

次 第

- 1) 開会のことば
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 乾杯
- 5) 懇親（名刺交換）
- 6) 新卒新入会紹介
- 7) お楽しみ抽選会
- 8) 閉会の言葉

会 費：6,000円



新卒新入会の方は無料です。奮ってご参加ください。

申込方法：本会事務所へFAXにてお申し込みください。

（会誌綴込みのFAX用紙をご利用ください）

問 合 せ：(社) 東京都放射線技師会事務所 TEL・FAX 03-3806-7724

以上

会 告

3

第7回 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

今回の日暮里塾ワンコインセミナー（NOCs）は、平成23年度に発表された演題の中から学術教育部が興味深いものを厳選し、再度お話しを頂く事を企画いたしました。

対象となるのは、青森で行われた全国放射線技師総合学術大会および山梨で行われた関東甲信越診療放射線技師学術大会において、東京から発表された演題の中から選びました。当日は発表のほかに質疑応答の時間も設けておりますので活発なご質問、ご意見をお願いします。

学会に参加できなかつた方、参加していたが聞けなかつたという方、参加お待ちしております。

～学術教育が選んだ6演題～

- 19:00 ①「320列ADCTにおける頭部3DCTAのプロトコールの検討」
日本大学医学部附属病院板橋病院 市川篤志 氏
- 19:15 ②「自由呼吸による心臓遅延造影MRIについての一考察」
日本大学医学部附属病院板橋病院 松田雅之 氏
- 19:30 ③「骨シンチグラフィにおける骨集積と骨密度の関連性について」
昭和大学病院 新井麻耶 氏
- 19:45 ④「小児肘関節撮影補助具の有用性」
昭和大学藤が丘病院 山本 恵 氏
- 20:00 ⑤「トモシンセシスの消化管造影検査への有効性の検討～大腸X線検査への適応と課題～」
公立福生病院 野中孝志 氏
- 20:15 ⑥「技師読影に関しての検討～読影技師の傾向と診断に対する影響～」
「技師読影に関しての検討～技師間の読影結果の比較～」
東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 工藤清宜 氏

※発表時間は目安です。若干前後する場合がありますのでご了承下さい。

記

日 時：平成24年1月17日（火）19時00分～20時30分

場 所：（社）東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

参 加 費：会員500円 非会員3,000円 新卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌12月号の研修会等申込み用紙を使用して事務所にFAXで申し込んで下さい。（※当日参加も可能です）

問 合 せ：理事（学術教育担当） 市川重司 メール gakujitu@tart.jp

（社）東京都放射線技師会事務所 TEL 03-3806-7724

以上

会告 4

第10回 ウィンターセミナー テーマ 「救急撮影・検査 —急性腹症—」 ～知っておきたいポイント～

救急患者の撮影や検査は一刻を争い、正確で確実な医療情報を提供しなくてはなりません。今回は急性腹症にテーマをあて、各モダリティでの撮影、検査時のポイントと注意点、また特徴的な画像サインなどを診る方法などを学習して行きたいと思います。救急の現場で活躍されている方々の講義を拝聴し勉強していきたいと思います。

プログラム

15:00	一般撮影における救急現場での撮影手技と注意点 杏林大学医学部付属病院	首藤 淳 氏
15:30	MRI検査における救急現場での撮影手技と注意点（安全管理を中心に） 関東中央病院	天野 淳 氏
	＜休憩＞	
16:10	超音波検査における救急現場での撮影手技と注意点 聖マリアンナ医科大学病院	岡村隆徳 氏
16:40	日本救急撮影技師認定機構紹介 日本救急撮影技師認定機構理事	土橋俊男 氏
	＜休憩＞	
17:20	血管撮影における救急現場での撮影手技と注意点 国立病院機構 災害医療センター	松鷹幸洋 氏
17:50	CT検査における救急現場での撮影手技と注意点 順天堂大学医学部附属練馬病院	木暮陽介 氏

※本セミナーは日本救急撮影技師認定機構、申請・更新ポイント、2ポイントが認定されています。
(参加、出席証明書を発行します)

記

日 時：平成24年1月28日（土）15時00分～18時00分

会 場：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂 新宿区西新宿6-7-1

アクセス：JR新宿駅西口下車徒歩 15分

都営大江戸線 都庁前駅下車徒歩 7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車徒歩 1分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円、新卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌12月号の研修会等申込み用紙を使用して事務所にFAXで申し込んで下さい。

なお、申し込み後1週間経過しても連絡がない場合はお問い合わせください。

問 合 せ：理事（学術教育担当） 市川重司 メール gakujitu@tart.jp

（社）東京都放射線技師会事務所 TEL 03-3806-7724

以上

会 告

5

第45回きめこまかな生涯教育

第4回MRI集中講習会同時開催

テーマ「MRI実践講義」

今回のきめこまかな生涯教育は、本年度開催予定のMRI集中講習会と共同開催という形式を取りたいと思います。

講義内容は基本からやや発展した内容を取上げ、MR専門技術者を目指す方には最適な内容となっております。開催日も2週間にわたり4日間開催することで幅広く多くのテーマについて勉強できるように企画いたしました。最終日にはMR専門技術者認定試験問題解説なども予定しております。

プログラム

- 1日目 平成24年2月15日（水）19時00～20時30分
講義：原理（基礎）および安全管理
講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏
- 2日目 平成24年2月16日（木）19時00～20時30分
講義：アーチファクト
講師：公立福生病院 野中孝志 氏
講義：脂肪抑制
講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏
- 3日目 平成24年2月21日（火）19時00～20時30分
講義：パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）
講師：虎の門病院 高橋 順士 氏
- 4日目 平成24年2月22日（水）19時00～20時30分
講義：過去MR専門技術者認定試験問題解説（第6回を中心に）
講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

記

日 時：平成24年2月15日(水)、16日(木)、21日(火)、22日(水)の4日間

場 所：（社）東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員3,000円 非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌12月号の研修会等申込み用紙を使用して事務所にFAXで申し込んで下さい。

問 合 せ：東放技理事（学術教育担当）市川重司

Mail : gakujitu@tart.jp

TEL : 042-551-1111（公立福生病院）

（社）東京都放射線技師会事務所

TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

東京都功労者表彰



中央三井信託銀行 健康推進センター

やま ぐち ひろし
山 口 廣

昭和25年3月19日生（61歳）

学歴等

昭和43年 4月 1日	中央医療技術専門学校入学
昭和45年 9月 30日	中央医療技術専門学校卒業
昭和45年11月19日	診療エックス線技師免許取得
昭和48年 6月 4日	診療放射線技師免許取得
昭和50年 8月 25日	診療エックス線作業主任者免許取得
平成 9年 9月 30日	第二種衛生管理者免許証取得

職歴

昭和43年 9月13日	東京警察病院 入職
昭和53年 4月16日	岩槻中央病院 入職
昭和54年 1月 4日	戸田中央総合病院 入職
平成 5年 9月27日	千葉脳神経外科病院 入職
平成 7年10月 1日	中央三井信託銀行株式会社 入職
現在に至る	

技師会経歴

平成 9年 4月～平成11年 3月	(社) 東京都放射線技師会 第2地区 委員
平成11年 4月～平成15年 3月	(社) 東京都放射線技師会 第2地区 理事
平成15年 4月～平成21年 3月	(社) 東京都放射線技師会 第2地区 委員

東京都功労者表彰をうけて

山口 廣

この度、社団法人東京都放射線技師会の推薦により、平成23年10月3日に都庁大会議場にて「東京都功労者表彰」を受章しました。多くの会員の中で私を推薦していただいた篠原会長をはじめ、理事会、表彰委員会の各役員の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。昭和51年11月に診療エックス線技師免許取得後、今まで41年間技師会でお世話になっています。この間、平成9年4月から平成11年3月、平成15年4月から平成21年3月まで地区委員として微力ながら技師会活動に参加できました。平成11年4月から平成15年3月の地区理事当時、会議の内容を手書きで地区委員に発送したこと、会議後の飲ミニケーションで夜11頃まで仲間と話しあったこと新事務所（ステーションプラザ）設立等の議論など、とにかく楽しんで技師会活動をさせていただきました。技師会は唯一の職能団体（=その職業が社会の中でもつ固有の機能）です。若い方々も技師会に積極的に入会し仲間を増やしていかがでしょうか。

現在は中央三井信託銀行 健康推進センターにて社員の健康管理の一員として頑張っています。この度の受章にあたっては、担当理事の大室先生にお世話になり、厚くお礼申し上げます。

最後に社団法人東京都放射線技師会の益々のご発展と会員皆様のご活躍とご健勝を祈念し、受章の御礼とさせていただきます。

山口 廣先生の東京都功労者表彰の祝辞

会長 篠原健一

この度の東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された山口廣先生が受章されましたことをご報告申しあげますとともに、心よりお喜びを申しあげます。

先生の医療界における多年の功績が社会的に高く評価されたものであります。このことは、先生のみならず都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受章であり、慶ばしい限りであります。

先生は昭和43年に東京警察病院に入職されて以来40年以上の永きにわたり診療放射線技師としてこの道一筋に奉職され、診療放射線技術の研鑽・後進の育成に努められました。

先生の最初の職場である東京警察病院では、一般撮影、断層撮影、消化管透視撮影、血管撮影等多種多様の撮影機器について撮影技術を取得され、その向上に努力を重ねられました。その中で特に消化管透視撮影すなわち胃・十二指腸バリウム検査に精進しその基本的な撮影の確立に努力され達成されました。当時、胃・十二指腸バリウム検査は技師が担当するケースが少なく、他の技師も含めて技師が行う撮影法が確立していなかったと聞いています。そこで技師会の研修会、講習会に参加し、基本的な解剖学、人によって多種多様な形体を呈する胃に対し、いくつかのパターンがあることに気付き、そのパターンに対する撮影法を整理することによって克服することができたと聞いています。これによって技師の行う胃・十二指腸バリウム検査撮影法を確立させ、撮影法の標準化を行うことができました。この標準化により撮影者による撮影のばらつきが是正され、質の確保がなされ、検査時間のばらつきもなくなり、患者さんの負担も軽減され、X線透視を含めた被ばく線量の低減が図られました。

本会におきましては、平成9年度から平成20年度まで第2地区委員、平成11年度からは2期4年間、第2地区理事としてとしてご活躍されました。

この度の受章は、医療及び診療放射線従事者として、国民医療・地域医療に対する功績が高く評価されたものであります。あらためて受章をお慶び申しあげますとともに、先生の益々のご健勝をお祈り申しあげます。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



社団法人東京都放射線技師会（以下、東放技）篠原健一会長の就任後、初めての新年を迎えるにあたり会員の皆様に篠原会長をもっと知りたいと思い、東放技編集部からインタビュー形式で“新春企画”をお送りします。

浅沼編集理事（以下：浅沼） 2012年の新春を迎え、お喜び申し上げます。ただいまより篠原会長をお迎えして、東放技編集部による新春企画を始めます。はじめに会長から会員の皆さんへ新年のご挨拶をお願い致します。

篠原会長（以下：会長） 明けましておめでとうございます。

会長就任後初の新年を迎え、皆様の多大なるご支援ご協力にあらためて感謝申しあげます。

昨年3月の第60回定期総会における役員選挙で会長信任をいただいた直後に東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故という未曾有の災害が起きました。また昨年は各地で大きな水害も発生いたしました。一連の災害、災難にあわれた方達へ心からお見舞いを申し上げます。家族を失い、友人を失い、けがをなされた方々、生活の基盤を失い、ふるさとの風景さえも奪われてしまったお一人おひとりの思いに至ることはできませんが、一日も早い復旧・復興とご健康を願っております。



—新年の抱負と昨年を振り返って—

森編集幹事（以下：森） 早速ですが、技師会活動について伺いたいと思います。まず、新年にあたり今年の抱負をお聞かせください。

会長 いくつかの項目があるのですが、まず①公益社団法人の認定ですね。可能な限り年度内に認定移行できるように現在申請をしています。年度内に認定をいただいて新年度からの移行を目指します。但し、監督

官庁の動きにもよるため、総会開催等も含めて流動的な対応も準備していくつもりです。次に②各地区・支部との直接対話の推進をしていきたいと思っています。昨年は新体制スタートと震災影響・対応が重なり、思う存分活動できない点もありましたので、もっと地区・支部に入ってきたかった気持ちが大きいです。今年は直接対話の推進をするべく、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。また③仲間を増やす、という意味で会員増を図っていきたいと思っています。仲間を増やすには、それには入っていただく方を増やすのも勿論ですが、退会される方を減らす努力や未納退会対策などを含めて、会費納入方法や加入のメリット等について皆様のご意見・ご提案を積極的に取り入れ推進したいと思います。さらには、④事業計画・スローガンに基づく事業の的確な推進を行っていきたいと思っています。事業計画は皆さんにお示ししていますが、来年度の事業計画は新執行部で作る初めての事業計画です。その意気込みを感じてもらえる運営を心がけたいと思います。



内藤編集幹事（以下：内藤）

新年のお話しが出た後ではあります、昨年のことに戻り、篠原会長が総会で新会長に信任されて、会長になられることが決まった直後に東日本大震災が起きました。その時のことと思い起こしてお聞かせ



願いたいのですが。

会長 総会の一週間後に震災がありました。大変な衝撃を受けましたが、総会にあたっていたら、東放技にとってはもっと大変なことになっていたと思います。実際、次の日が総会という県や、総会ができないという県も結構あったようです。

震災当日（3月11日）は、職場の地下1階RI室にいました。生まれて初めて経験する揺れで、部署内を走り回って、患者さんを装置から離すよう叫んでまわりました。その晩は交通機関の混乱もあり、また翌日の朝出勤できないスタッフが出ることを想定し、若手技師数人と病院に泊まることを決め阿佐ヶ谷で飲みました。

本来は翌日の3月12日には恒例の第5地区の富津海岸清掃活動に行くつもりでいました。とても楽しみにしていたのですが、もし行っているときに震災があったら、帰宅困難者になっていたと思います。

私はあの時、中澤日放技会長の動きがとても早かったのが強く印象に残っていて、これはリーダーとしての素晴らしい資質であると感じたし、私も見習わなければいけないと思ったところです。

3月13日日曜日の朝、自宅に中澤日放技会長から「浜松町（日放技事務所）に来てほしい」と電話があり直ちに向かいました。日放技事務所につくと東京近県の技師会責任者らが招集されており、日放技地震対策本部が設置されました。そして近隣でやれることをやろうということで、ご存知のようにサーベイメータを貸してくれる施設を手配したり、第一陣として市川理事（東放技学術教育担当）が参加した被災地でのサーベイボランティアの派遣を決めたりと、震災三日目にはそのような動きでした。そして東京都放射線技師会でも三役を中心に地震災害対策本部の設置をいたしました。まだこの時点では私の会長任期は始まっていませんでしたが、次期会長として呼ばれ、中澤日放技会長と行動をともにしたおかげでリーダーというのはこうあるべきだと、認識を新たに持つことができたとても良い経験でした。

浅沼 篠原次期会長（当時）
のリーダーとしての動きも、
とても早かったと思います。
ところで、当日（3月13日）
の浜松町への移動は大丈夫だ
ったのでしょうか？ サーベ
イメータの貸し出しでは、提
供できるが移動手段がないな
ど苦労を強いられましたがいかがでしたか。

会長 私自身の移動は大丈夫でした。サーベイメータ



については地域によっては困難な所もあったようでしたね。郊外などは交通機関が止まっていたりして。私は西武拝島線が止まっていたので、立川までバスで出て中央線で移動したと記憶しています。

内藤 震災時、会長は総務理事の任期中だったわけですが、次期会長に就かれることは決まっていましたよね。総務理事という会長に近い立場に居た方が次期会長に内定していたという点で、そういう意味では東放技の組織としては良かったのではないかでしょうか。

会長 形の上では日放技会長は中澤会長、また東放技も3月31日までは中澤会長でしたが、就任が近いということもあり、これは次期会長の仕事だということで指示を仰いでいたのだと思っています。

浅沼 中澤日放技会長も分担できるところは分担できて、動きやすかったのではないかでしょうか。

会長 そうですね。中澤日放技会長は日放技のトップとして諸々の指示をしていましたので、東京は篠原、埼玉は誰々、千葉は…というように指示をしていましたね。



浅沼 関連ですが東放技も対策本部を設置し、東京都の避難所に対してのサーベイ活動を、いち早く開始して一日も空くことなく避難所閉鎖まで活動いたしましたが、その時のリーダーとしての決断や状況を教えてください。

会長 3月13日以降、何度か日放技対策本部に会議に行きました、18日の対策会議の時に厚労省から「保健所等への協力依頼」という文書がきていることを知りました。各都道府県又は保健所設置市からの要請に応じて、技師の派遣、サーベイメータの貸し出し等の協力要請でした。中澤日放技会長は東京都においては東放技がということで、その文書をうけてすぐに都庁へ連絡しました。そして3月22日に都庁を訪問することになりました一緒にきました。都内には三か所（東京ビックサイト・東京武道館・味の素スタジアム）の避難所が開設されており、現状では東京消防庁がサーベイ活動をしていました。東放技としては都から要請のあった東京ビックサイトに入ることになりました。

3月24日から24時間体制でスタートしました。54日間（昼夜103単位）の期間中、128人の方に延べ212単位ご参加いただき、125人の避難者の方を測定いたしました。測定だけでなく、被ばく相談への対応、測定室の環境整備、行政（都）への提言・助言、マスコミ対応等にも多くの方のご協力をいただきました。一週

間経過した時点で、来所される方々の人数や時間帯を勘案し、また長く継続するために夜10時までの体制にしました。そして4月24日までは東京ビッグサイト、その後はビッグサイトが閉鎖になるということで、味の素スタジアムで活動しました。どちらも消防庁の方から引き継ぐという形で入りました。消防庁の方々の対応は、皆さんすべてタイベックス着用で、手袋にマスク・靴カバーと完全装備ですごく物々しく感じました。それを見ただけで風評を心配するほどでした。それらもすべて説明して「そこまでする必要はないですよ」「このくらいの数値ですから、こういう対応で充分ですよ」と話して理解していただきました。当時は都庁の方々も緊張のなか、自分達もかなりの放射線を受けてしまうのではないかと心配しており、もし汚染している人が来たら除染室まで連れていくのは役職者以上の者、などとの内規まで決めているようでした。そのような状況のなか、マスコミ対応も含めて、都庁の方々はとても助かったとおっしゃってくれて、私達が入ることで過剰反応をしなくて済んだと感謝されました。当初のままの対応だと、逆にマスコミにたたかれてしまう恐れがあり、それが風評につながってしまうことにもなりかねなかったそうです。「そのような対応でなくて大丈夫ですよ」「もっと普通の対応で大丈夫ですよ」「安全というより安心のためですよ」などの説明をボランティアの方々から受け、一番安心したのは都庁の職員の皆さんではなかったでしょうか。

皆さん、漠然とした不安を抱えたままで対応なさっていましたが、最後は「避難された方に安心していただくためのものですね」と理解してくれて、5月26日(木)に東京都福祉保健局事業調整担当部長、同じく医療政策担当部長が「ぜひお礼に伺いたい」と本会事務所を来訪されました。まずは、長期間継続してサーベイ業務に携わってもらったこと、被災者の方に大きな安心を与えていただいたことに対してのお礼、さらには行政として専門家に入ってもらったことの意義の深さについて感謝とお礼を述べられておりました。

診療放射線技師としてこのような活動ができたことは私達にとってもとてもいい経験だったと私は思っています。今回のことでの私達が社会的に貢献できることは、なにも医療だけでなくこのような時にも国民から必要とされる職業なり資格だという事を多くの方が経験できました。今回のような事は二度と起きてほしくはないですが、起きてしまったことへの対応は、意義があったと思っています。サーベイ活動を行っていただいた方、情報伝達していただいた方、送り出していただいた職場・ご家族、各種資料提供やマニュアル

整備をしていただいた方、すべての方々に、あらためてお礼申しあげます。

浅沼 次に、篠原会長が総務理事時代と一緒に会務活動をなさっていた中澤前東放技会長が現在日放技会長となられていますが、東放技と日放技の連携についてはいかがでしょうか？

会長 私たちの職能にとって、厚労省の窓口は日本放射線技師会だけです。しっかりと連携をとっていかなければいけないと思っています。前体制（日放技）で、従来の日放技と地方技師会の繋がりを断ち切るような方策が立案され、実行されてしまいました。会員のためでも国民のためでもなく、一部の人々の利益としか思えませんでしたが、現会長体制になってその弊害がしっかりと認識されて、今は再び建設的な関係が構築されることとなりました。

日本放射線技師会のための地方技師会であり、地方技師会のための日本放射線技師会であるべきなので、私も中澤日放技会長同様「是々非々」で、良いものはよい、悪いものはわるいとはっきり言い、国民のため、職能のために各種事業を協力しながら推進したいと思います。総会での就任挨拶でもお話ししましたが、これまでの中澤日放技会長との関係から、東放技が日放技の下請けにならないように（笑）、独自性を持ちながら、且つしっかりとした日放技との協力体制を築いていきたいと思っています。



森 今後の技師会の展望、会長の目指す未来の「東放技像」を教えていただけないでしょうか？

会長 やはりビジョンは持たなければいけないと思います。平成21年には関東甲信越放射線技師学術大会が東京開催がありました。その次の年に本部開催で中澤前東放技会長の指揮のもと東京国際フォーラムで放射線技師総合学術大会がイレギュラーな役回りでは有りましたが開催されましたが、関東甲信越放射線技師学術大会を次に担当するのは平成31年になります。そうするとかなり期間が空いてしまいますので、継承性のためには何か間に1回くらいやった方が良いという意見もあり私自身もそう思っております。まだ具体的ではありませんが思案中です。

その他、会員を増やすという事では、特に女性会員を増やすことに力を入れたいと思っております。少しずつ増えて来ているとは思いますが、毎年技師会に入

る方や実際に東京都で働いている技師の比率から考えると、まだまだ女性の会員、特に女性の役員は少ないと思います。構成比率を現実に近づけ、役員なども女性を増やしたいと考えております。委員会や幹事、地区委員の中には大分女性技師が増えて来ていると思いますが、実際の構成比率から考えるとまだ少ないと思いますし、今後の未来予想図としてはこれも大事なことと思っております。

森 会員の皆さんに期待する事は?

会長 私としてはできるだけイベントに参加する会員であって欲しいと思います。それからシッカリと物を言ってくれる会員であって欲しいとも思っています。いずれにせよ先ずは楽しむという事が大事であると考えております。あとは自立と自律です。自立していくなおかつ自分を律している会員でいてほしいと思いますし、これは自分に向けての言葉でもあります。

—会長就任後について—

内藤 会長になって公私いずれでも構わないのですが、変わった事があったら教えていただきたいのですが?

会長 簡単に言うと総務理事の時に比べるとメールを処理する件数が格段とに減りました。

内藤 減ったのですか? 会長の方が様々な点で忙しくなり、むしろ入ってくるメールは増えそうな感じがしますが…。

会長 色々な報告をみんな総務にしてくれるわけで、もちろん総務からの報告は貴いCCメールで私のもとになりますが、自分が処理するというのはなくてそれぞれの専門部、総務の事は総務だし編集の事は編集から報告をもらったりします。自分が直接処理するという事は減ったという意味です。そういう意味でメール自体の件数が減ったという話でなく処理件数が一気に減ったということになります。他県の会長とか日放技関係のメールは直接来るので、震災対応もあり増えました。あとは、皆さんが“会長、会長”と言ってくれるのは嬉しいことなのですが、今まで“篠さん、篠さん”って言っていた人がいきなり“会長”と言うのはくすぐったい感じがします。

内藤 今でもそうですか?

会長 そうですね、長年呼ばれ慣れていた呼び方なので、職場だとそうでもないのかもしれません、技師会だと皆同じ放射線技師なので、まだ慣れていませんね。自覚が足りないかもしれません、私



としては“篠さん”でいいです(笑)。

内藤 でも呼ぶ方はそうはいかないですよ。

会長 まだ半年だからね。皆さん気が使正在していただいているという事で理解しています。

浅沼 会誌「東京放射線」や編集部に対して要望などございますか?

会長 会誌は一番の情報発信元であり会員にとって非常に重要な一部だと思っておりますので、本当に世話になっていると思っています。ホームページももちろん重要ですがやっぱりこの紙の媒体の会誌というのが基本だと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

特に要望というものはありません。皆さんいつも本当に良くやっていると思っています。会を運営するにあたって編集から、今度こんな事がありますといち早く知らせていただくことで、私にとってもスケジュールの管理ができますので大変助かっております。今後ともぜひよろしくお願ひします。

浅沼 こちらこそよろしくお願ひします。

会長 会誌が出るときだけではなく今月が終わるとまた次の月と、常に同時進行で休まる時もないと思いますが身体をどうぞ大事にしてください。(笑)

浅沼 編集部に対して沢山のご意見と労いをありがとうございました。それでは会務の話から篠原会長個人に向けた話をさせていただきたいと思います。

—篠原会長へ個人質問—

会長 こっちの方が気楽ですが会誌には載せて貰いたくない事もありますのでよろしく(笑)。

浅沼 では、柴山さんからお願ひします。

柴山編集幹事（以下：柴山）
診療放射線技師にはどのようなきっかけでなったのでしょうか?



会長 本当だったら「高校時代にがをして入院し、格好いい放射線技師さんにあこがれて」みたいな話ができると良いのですが(笑)、私の場合は高校三年生の夏休みまで進路が何も決まっていませんでした。家が貧しいので通常の進学はあきらめっていましたが、当時良くも悪くも目をかけてくれた社会科の先生が、私が所属していた剣道部の顧問の先生に進路相談をするよう助言をしてくれました。後日相談に行ってみたところ、私の学校の先輩も何人か就職している東京の健診会社で募集がある事を知りました。会社の仕事内容など理解

しないまま、東京の親戚の家に泊めてもらい面接を行ったのですが、「診療放射線技師と臨床検査技師のどちらかの学校（夜間）に入つてもらい、昼間は助手として働き、学校を卒業したらその資格で勤めて欲しい」と言われ、その時初めて健診車を多く所有する検査センターであるとわかりました。その後は就職して昼間働きながら診療放射線技師学校へ行く事となりました。それが放射線技師になったきっかけで偶然の部分がかなりあります。また、健診会社であったこともあり学生時代に自動車の大型免許も取りました。

柴山 学校へ行っている間に大型免許を取得されたのですか？

会長 そうです。学生の時に取得しました。

内藤 お勤めになった健診会社の必要に迫られてとのことです、現在も運転をしていらっしゃいますか？

会長 現在は殆ど運転をしませんが、子供が小さい時分、リトルリーグの遠征時などによくバスの運転をさせられました。（笑）

内藤 放射線技師

を目指したきっかけで高校時の話が出ましたけれどもう少し若い頃、あるいはそれ以前の若い頃、幼少の頃というのはどんなお子さんだったのでしょうか？



たのでしょうか？ まずは出身地からお願いします。

会長 出身は長野です。近所の悪ガキを集めて遊んでばかりで、先生や親から「悪戯ばっかりして」とよく言われていました。非行に走るとかではなかったと思いますが、一般的にいう悪戯っ子でした。また、長野は田舎なので遊ぶといったら野山を駆け廻るしかなく、遊びといえば木の実やキノコ、山菜を探るとかばかりでした。

内藤 スポーツは剣道一本ですか？ また、腕前は？

会長 学校でのスポーツクラブは中学から高校の6年間をとおして剣道のみで、腕前は普通です。あとは中学から高校にかけて、市のクラブというのがあってカヌークラブに所属し、川下りや湖で練習をしていました。

柴山 その当時は趣味の釣りはいかがでしたか？

会長 本格的なアユとか渓流とかではなく、その辺の水溜りでやるような釣りはやりましたね。

浅沼 知らなかった会長的一面をお聴きできました。ありがとうございます。

内藤 技師会活動に携わったきっかけを教えていただけますか？

会長 平成5年ごろ、当時の第10地区の地区理事から当院に地区委員推薦の依頼がありました。以前、私のだいぶ先輩が地区委員長をやっていたことがあったらしいのですが、時代が下って地区委員から離れていたみたいですね。当院は10地区の中では比較的大きな病院なのでその中から、ということで地区委員になったのが最初です。前任の技師長と二人で就任することになりました。当時は中澤前会長が総務理事でした。その後中澤前会長が会長就任1期目の時に「地球環境委員会」が設置され、慶應の森さんが理事（広報担当）兼、地球環境委員会委員長でした。総会の後の懇親会に出席したのですが、その時（1998年）に当院が日本の病院で初めて環境マネジメントISO14001の認証を取得したという情報が流れていきました。私は職場でISOの推進委員を兼務していましたので、地球環境委員会に入ってくれないかということで森さんに紹介されました。その後は中澤前会長の2期目に理事（涉外担当）を2期4年、それに続いて総務理事は中澤会長退任まで務めました。

森 会長の得意分野はありますか？

会長 恥ずかしながら仕事の面では特にありません。民間病院は何でもやらなくてはならないので、広く浅くひとつの特化したものというのではないです。強いていえば、うちの病院にはありませんが大型免許を持っているので検診バスの運転でしょうか（笑）。永くやっているのはRI。好きな分野は消化器ですね。

浅沼 会長はISO関連も得意分野ではないでしょうか。私は東放技の標準化委員会で当時委員長だった会長のもとで大変勉強をさせていただきました。

会長 ISOの勉強をしたことは私自身にとって大変役立ちました。当院がなぜISOを取得したかというと、実は環境のためだけではなく、標準化されたマネジメントシステムを導入したかったからです。その後のマニュアル作りや組織運営にマネジメントシステムは役に立ちました。今、ISOは自主的に返上したのですが別の仕組みで認証を取得しています。

浅沼 当時、河北総合病院がISOを取得したというのは衝撃的でしたし、それがきっかけとなってISOを勉



強しだしたひとも多いのではないでしょうか。

柴山 職場でも技師会でも重責を担われる会長のストレス発散法はありますか？

会長 農作業はやらざるを得ないです、野菜はどんどん育ちますので（笑）。釣りや料理は以前に比べて没頭できる時間は少なくなりました。日常的には、本を読むこと、皆で楽しく酒を飲むことです。

内藤 「会長の1日」を教えてください



会長 5時から5時半に起床、6時に家を出て、7時頃に職場に入り、メールチェックやその日の担当するセクションの始業時点検。8時25分にミーティング、8時30分に業務がスタートです。帰りが遅くなる日もありますが、そんなに多いわけではありません。普段は10時から11時くらいには就寝するようにしています。日暮里（東放技事務所）で会議があると帰宅は1時頃になります。飲んでいる時間が長いので…（笑）。

森 愛読書を教えていただけますか？

会長 本を読むのは昔から好きで、いろんなものを読んでいますよ。歴史小説とかSF、最近は巻頭言を書くのを意識して読む本もあります。私はひとつの本を続けて集中して読むのが苦手で、いつも3冊くらいを持ち歩き同時進行で読んでいます。通勤時間が1時間程度なので、電車やバスに乗っている時に読むことが多いです。

内藤 お酒はどのようなものが好きですか。

会長 日本酒が一番好きです。技師会会務の後に、皆さんとお酒を飲むのは楽しいですね。

内藤 趣味や特技を教えて下さい

会長 趣味としては最近では「農作業」「釣り」「料理」。2年ほど前から近所に9坪の畠を借りて、春夏野菜、秋冬野菜で年間40種類くらいの野菜を育てています。釣りは海なし県「長野」出身のため海に憧れ、海釣りをやります。釣った魚はおいしく食べます。釣りは食糧確保の文化だと思っています。それに関連して小型船舶1級も取りました。2級と1級の違いは行ける距離の違いで、2級は5海里（約9km）まで、1級になると無制限になります。料理は好きです。何もない休日はほぼ台所を占領しています。

浅沼 料理はどのようなものを作りますか？

会長 特にジャンルにこだわらず、本やインターネットで調べたり、食べに行ったときにおいしい料理があったら自分で作ってみます。それと釣った魚の料理は

絶対に自分でやります。

内藤 道具にはこだわっていますか？

会長 自分専用の包丁を持っています。あとは、銅できた卵焼き器は妻には使わせません。（笑）

柴山 畑を始めたきっかけは？

会長 最初は妻が友達の紹介ではじめました。私もやりたかったので、それじゃ一緒にやろうと。そのうちに妻のほうが忙しくなってしまい、最近では私が畠をやることのほうが多いですね。基本的に農薬は使いません。当然虫が食いますが、通常虫は全て食べ尽くすようなことはありません。全部食べるのは人間です（笑）。

柴山 家族構成を教えていただきますか？

会長 妻と三男一女の子供達、そしてペットの柴犬です。

森 会長ご自身を色で喻えると何色ですか？

会長 ぱっと浮かんだのが茶色ですね。生まれつき髪も目も茶色なので。子供のころはコンプレックスで、そのことでからかわれたりしましたが、だんだん自分の持つて生まれたもので、私は私だと思うようになりました。

森 一番の宝物を教えてください。

会長 子供は宝物といいますし、私にとってもやはり子供は宝ですね。

内藤 最後に座右の銘、または好きな言葉を教えていただけますか

会長 「身はたとい 武蔵の野辺に朽ちぬとも 留め置かまし 大和魂」…吉田松陰

普段、色紙に書くというような座右の銘というものは特にありません。震災時の秩序があり助け合う行動、これは奇跡みたいなものです。日本人は捨てたものじゃないなと思いました。勇気をもらいましたからね。松陰が処刑される前に詠んだ辞世の句ですが、大和魂を大切にしたいというつもりで挙げさせていただきました。

浅沼 篠原会長、長時間にわたりありがとうございました。今回の企画で少しではございますが篠原新会長の考え方や人柄を、会員の皆様にお伝えできたのではないかと思います。最後に皆様の健康とご多幸をご祈念し、この辺で「新春企画」を終了させていただきたいと思います。

執行部・委員会紹介

編集部

現在、編集部は理事1名と幹事7名の総勢8名で構成され、会誌を中心に学術大会抄録作成や各種イベントの会誌掲載などの会務を行っております。

次年度に予定されています公益法人化に向けて、更に情報豊かな「東京放射線」を目指していきたいと思います。また、会員の皆さまからの寄稿や投稿、掲載企画案がございましたら、編集部までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。



後列左より 柴山幹事、内藤幹事
前列左より 森 幹事、篠原会長、浅沼理事



後列左より 岩井幹事、平田幹事、浅野幹事
前 列 中谷幹事

イエローケーキ

日本人はきれい好き

海外に行くと、日本人はやっぱり規則正しく、きれい好きという印象をもつ。近場で韓国、香港、台湾、タイ、フィリピン、シンガポールと行ったが、日本のきれいさには敵わない。同じアジアでもこうも違うのかと感心するぐらいだ。

確かにその中でもシンガポールは法律が厳しいので、日本の環境に似ている。しかし、建物の一歩外出れば、タバコを吸えるところは点在しているし、案外ゴミも落ちている。私は、なーんだとがっかり。主人はやっぱりね。の、したり顔。

シンガポール以外は…なんともいえない。

清潔感というものを考えると、水環境が大事だ。まず、水道水が飲めないのはそれが普通だったりするので、日本が特別だと思えばいい。ただ、下水は日本に慣れてしまうと、場所によっては、我慢できるか微妙だ。どの場所に行ったって、トイレが水洗、おまけにトイレットペーパーつきで、流れも良好なんてそうそうない。だいたい、水洗だが、紙は流せないとか、何かしら不便なところがあるのだ。

フィリピンの小さな島の、そのまた田舎に行った時は、さすがにびっくりだった。便器が割れていて座れる状態じゃないし、流せる状況でもない。さらに昼間なのに薄暗くて、電気もつかない。それでも、お店の人はあっけらかんとしていて、直そうという意思は全く感じられない。

こんなものなのか。日本人がきれいにしすぎているだけなのか…とちょっと考えさせられたトイレだった。それでも、旅行と割り切って、しかもそんなに小汚いホテルに宿泊しなければ、とても楽しい。やっぱり異文化に触れるのはおもしろいし、色々な面で勉強になる。

そして、東京に帰ってきて日本のトイレに入ると、やっぱりきれいだなあとほっとする。

モカモカ

第62回 定期総会資料

第1号議案 平成24年度事業計画（案）

1. 総括

今われわれはさまざまな板ばさみになっている。「経済と温暖化」「エネルギーと原子力」「市場と内政」「景気と増税」等々である。

もともと拮抗するものが入り混じったり一方の力で抑えられたりしていたものが何かのきっかけで噴出する。または歴史的な転換点になったり技術革新・社会構造の大変革になったりする。昨年はそのような出来事が実際に多かった年である。未曾有の大震災、原子力事故、日本や世界中で頻発した水害、欧州経済危機、中東の春、円高、TPP…。

自然の容赦ない力に呆然とするだけでなく、何百キロも離れた福島の人々に大きなリスクを背負わせて生活を享受していたことに気付いたのと同じように、われわれはさまざまのことから大切なことを一つ一つ見つけ出さなければならない。それには、現状・実状をしっかり把握することはもちろん大切であるが、「現在」だけを見ていても答えは見つけにくい。「歴史」というフィルターが必要である。

私たちは地球全体の動きも見据え、過去から学びながら、将来・未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種から信頼され必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していくなければならない。診療放射線技師が社会的価値として認められる職能となるために、引き続き1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した医療技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を展開して行く。

本会は平成24年度登記を目指し公益社団法人認定に向けて鋭意活動しているところであるが、公益性の認定とは、

- ①「公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律」別表に掲げられた学術、技芸、慈善その他の公益に関する23の事業に該当するか。
- ②受益機会が一般公開されているか。
- ③特定の者に対する利益供与になっていないか。
- ④公正な運営がなされているか。
- ⑤社会的存在として広く認識されるような事業規模に達しているか。

の観点から厳正な審査が行われる。

但し、会員のための事業は「公益」ではないなどと卑屈になる必要はない。会員及び診療放射線技師の資質を高めそれを医療の現場で積極的に活用していくことは国民のため、チーム医療推進のためであり、それをいかに表現していくかが重要である。

国民が求める安心・安全な医療、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。それには広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂等、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定等、社団法人日本放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。

また、各支部で開催される行政祭り等において、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。

会員の皆様方のより一層のご支援とご協力を願いする次第である。

2. 定款に基づく本会の事業

平成24年度事業計画案のうち定款に基づく本会の事業は、現在申請中の公益社団法人に認定され、平成24年度から公益社団法人となることを前提に、平成22年3月13日第58回定期総会において決議された公益社団法人東京都放射線技師会定款案、および平成24年3月3日第62回定期総会においてその一部改正が承認されることを前提に提示する。

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康及び医療、並びに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また、診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員およびひろく診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：6月 土曜日

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：(社) 東京都放射線技師会

後 援：開催場所の市または区および東京都

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマー・ウィンターセミナー

開催時期：8月および1月下旬 土曜日

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：(社) 東京都放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) メディカルマネジメント研修会

開催時期：11月中旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：(社) 東京都放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

4) 合同学術講演会

開催時期：9月上旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：（社）東京都放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京部会

実施内容：東京都内の放射線に関する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめ、多くのコメディカル分野の専門家、および有識者を招きます。

5) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査などを学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレット「目で見る放射線」および本会会誌の配布を行います。また、一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) 看護フェスタ

開催時期：5月 第2土曜日

開催場所：新宿駅西口イベントコーナー

主 催：（社）東京都看護協会

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、診療放射線技師の進路相談、放射線クイズ、学術誌配布

2) 中野まつり

開催時期：10月 第2土・日曜日

開催場所：中野区勤労福祉会館内ブース

主 催：中野区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

3) 町田市総合健康づくりフェア

開催時期：10月下旬 土曜日

開催場所：健康福祉会館または町田市総合体育館

主 催：町田市

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

4) 中央区健康福祉まつり

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：中央区保健所

主 催：中央区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

5) OTAふれあいフェスタ

開催時期：11月初旬 土・日曜日

開催場所：平和島競艇場内水の広場

主 催：大田区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

6) 立川防災航空祭

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：立川市 陸上自衛隊立川駐屯地

主 催：立川市

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

7) ピンクリボンウォーク

開催時期：10月または3月下旬 日曜日

開催場所：主に日比谷公園

主 催：NPO法人乳房健康研究会

実施内容：模擬乳房の乳がん触知体験

3. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療における様々な諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 日本放射線技師会生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

4. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

- 1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。また、イベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

- 2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。

- 2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、認定技師制度に基づく専門技術の習得と専門資格の取得を目的に、医療機器安全管理責任者養成講習会・MRI集中講習会・マンモグラフィ講習会を開催します。

- 3) 日暮里ワンコインセミナーと題して、本会事務所研修センターにて、医療・健康・放射線技術などのさまざまなテーマで、だれでも参加できるセミナーを行います。

- 4) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。

- 5) 禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

- 6) 組織の活性化、新卒者などの入会促進を行います。

- 7) 雇用の促進と確保に努めます。

- 8) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また、本会における規定の表彰を行います。

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予算合計 (A)	前期予算 (B)	差異 (A-B)
	体験活動	他	会員のための生涯教育事業	相互扶助 義彰親睦	共 通				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
①受取会費	14,000,000	400,000	200,000	600,000	5,400,000	20,000,000	20,912,000	0	△ 912,000
正会員受取会費	630,000	18,000	9,000	27,000	243,000	900,000	900,000	0	0
賛助会員受取会費									
②事業収益	800,000	400,000	0	400,000	0	1,200,000	1,200,000	0	0
研修会事業収益	0	0	1,800,000	1,800,000	0	1,800,000	1,800,000	0	0
懇親会事業収益			0	0	0	0	0	0	0
出版事業収益	30,000	0	0	0	0	30,000	40,000	△ 10,000	0
③受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④受取補助金									
⑤雑収益									
受取利息、	5,000	0	0	0	0	0	5,000	6,000	△ 1,000
広告収益	1,600,000	0	0	0	0	0	1,600,000	1,500,000	100,000
雑取収益	10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
経常収益計	17,075,000	818,000	2,009,000	0	2,827,000	5,643,000	25,545,000	25,458,000	87,000
(2) 経常費用									
①事業費									
給料手当	782,000	138,000	230,000	368,000	8,000	1,150,000	1,200,000	40,000	△ 50,000
福利厚生費	17,000	3,000	5,000	1,695,027	1,695,027	25,000	45,58,737	45,58,737	△ 15,000
会議費	2,932,705	280,540	1,414,487	110,652	110,652	1,120,107	1,237,718	1,237,718	△ 117,611
旅費交通費	1,009,455	94,674	15,978	22,440	22,440	2,600,535	2,658,118	2,658,118	△ 57,583
通信運搬費	2,578,095	22,440	6,733	3,366	10,099	914,869	915,305	915,305	△ 436
減価償却費	904,770	5,000	5,000	5,000	5,000	400,000	448,480	448,480	△ 248,480
消耗品費	395,000	53,388	46,729	100,117	100,117	208,000	208,000	208,000	0
修繕費	208,000	2,400	2,400	2,400	0	5,906,542	7,123,290	7,123,290	△ 1,216,748
印刷製本費	5,806,425	189,600	0	0	0	192,000	192,000	192,000	0
光熱水料費						630,000	820,800	820,800	139,200
管理費	960,000	170,178	118,500	1,500	1,500	170,178	170,178	170,178	0
倉庫使用費						120,000	136,000	136,000	△ 16,000
保険料	84,000	84,000	12,000	12,000	12,000	96,000	240,000	240,000	△ 144,000
支払手数料	192,000	280,000	40,000	40,000	40,000	192,000	144,000	144,000	48,000
租税公課	600,000	35,000	15,000	15,000	0	320,000	240,000	240,000	80,000
慶弔費	500,000	296,314	103,686	103,686	0	600,000	600,000	600,000	0
伝報関連費	25,700	9,300	3,500	9,300	0	50,000	50,000	50,000	0
研究助成費	274,750	1,750	5,250	5,250	0	280,000	285,600	285,600	△ 5,600
原稿料	357,813	12,229	30,633	42,882	42,882	400,695	1,268,000	1,268,000	△ 867,305
諸謝金		18,717,305	751,390	1,799,963	0	2,551,353	21,268,658	21,268,658	△ 2,402,568
事業費計									

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予算合計 (A)	前期予算 (B)	差異 (A - B)	(参考)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰報睦	共 通	小 計					
②管理費										
給料手当						1,150,000	1,150,000	1,200,000	-50,000	△ 50,000
福利厚生費						25,000	25,000	40,000	-15,000	△ 15,000
会議費						872,268	872,268	859,263	13,005	△ 13,005
旅費交通費						79,893	79,893	88,282	-8,389	△ 8,389
通信運搬費						199,465	199,465	203,882	-4,417	△ 4,417
印刷製本費						93,458	93,458	112,710	-19,252	△ 19,252
減価償却費						201,131	201,131	201,227	-△ 96	△ 96
消耗品費						100,000	100,000	162,120	-62,120	△ 62,120
修繕費						52,000	52,000	52,000	0	0
光熱水料費						48,000	48,000	48,000	0	0
管理費						240,000	240,000	205,200	34,800	△ 34,800
倉庫使用費						41,822	41,822	41,822	0	0
保険料						30,000	30,000	34,000	△ 4,000	△ 4,000
支払手数料						24,000	24,000	60,000	△ 36,000	△ 36,000
租税公課						138,000	138,000	86,000	52,000	△ 52,000
慶弔費						80,000	80,000	60,000	20,000	△ 20,000
支払報酬						700,000	700,000	540,000	160,000	△ 160,000
支払利息						70,000	70,000	71,400	-1,400	△ 1,400
雜費						61,305	61,305	194,000	△ 132,695	△ 132,695
管理費計						4,206,342	4,206,342	4,259,906	△ 53,564	△ 53,564
経常費用計						2,551,353	2,551,353	2,475,000	27,312	△ 2,456,132
評価損益調整前当期経常増減額						0	0	0	0	0
基本財産評価損益等						275,647	1,436,658	70,000	△ 2,473,132	△ 2,473,132
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計										
当期経常増減額										
△ 1,642,305	66,610	209,037	0	275,647	1,436,658	70,000	70,000	△ 2,473,132	2,543,132	
2. 経常増減の部										
(1) 経営外収益										
経営外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経営外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額										
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,642,305	66,610	209,037	0	275,647	1,436,658	70,000	70,000	△ 2,473,132	2,543,132
法人税、住民税及び事業税										
当期一般正味財産増減額	△ 1,642,305	66,610	209,037	0	275,647	1,366,658	0	0	△ 2,543,132	2,543,132
一般正味財産期首残高	27,382,672					683,903	21,856,959	49,923,534	52,466,666	△ 2,543,132
一般正味財産期末残高	25,740,367					959,550	23,223,617	49,923,534	49,923,534	0
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0					0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,123,033					193,434	2,579,116	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	10,123,033					193,434	2,579,116	12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高	35,863,400					1,152,984	25,802,733	62,819,117	62,819,117	

第3号議案 新定款修正（案）

公益社団法人東京都放射線技師会 定款の修正について

会員の皆さまには、平素より格別のご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、第58回定期総会（平成22年3月13日）にて採択されました公益法人移行時の「公益社団法人東京都放射線技師会定款」に関しまして、
移行申請中に東京都の指導により修正が必要となりましたので、ここに提案申し上げます。

また、公益法人認定に際して、今後さらに文言などの若干の修正が発生した場合には、理事会に一任さるよう重ねて提案申し上げます。
なお、公益法人認定の申請に際ましては、平成23年11月14日にこの修正案にて申請を行いましたことを付け加えます。

公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款	公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款
目次	目次
第1章 総則（第1条・第2条）	第1章 総則（第1条・第2条）
第2章 目的及び事業（第3条・第4条）	第2章 目的及び事業（第3条・第4条）
第3章 会員（第5条～第10条）	第3章 会員（第5条～第10条）
第4章 総会（第11条～第19条）	第4章 総会（第11条～第19条）
第5章 役員（第20条～第27条）	第5章 役員（第20条～第27条）
第6章 理事会（第28条～第34条）	第6章 理事会（第28条～第34条）
第7章 資産及び会計（第35条～第41条）	第7章 資産及び会計（第35条～第40条）
第8章 定款の変更及び解散（第42条～第45条）	第8章 定款の変更及び解散（第41条～第44条）
第9章 公告の方法（第46条）	第9章 公告の方法（第45条）
第10章 支部（第47条）	第10章 支部（第46条）
第11章 事務局（第48条）	第11章 事務局（第47条）
附則	附則

第2章 目的及び事業	公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款	公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款（修正案）
第2章 目的及び事業	(事業) この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業 (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業 (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業 (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進 (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行 (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	(事業) この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業 (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業 (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業 (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進 (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行 (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
第4章 総会		2 前項の事業は、東京都内において行う。
第4章 総会	(開催) 第13条 総会は、定期総会として毎年事業年度の終了後 2ヶ月以内 に開催する。	第4章 総会 (開催) 第13条 総会は、定期総会として毎年事業年度の終了後 3ヶ月以内 に開催する。
第7章 資産及び会計	(暫定予算) 第39条 前条の規定にかわらず、やむを得ない理由により収支予算が成立しないときは、予算成立の日まで前年度の予算に準じて、暫定予算を理事会で定め執行する。	第7章 資産及び会計 (暫定予算) 第39条 前条の規定にかわらず、やむを得ない理由により収支予算が成立しないときは、予算成立の日まで前年度の予算に準じて、暫定予算を理事会で定め執行する。
第40条	(事業報告及び決算) この法人の事業報告及び決算については、毎事年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、総会に提出し、 第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならぬ。	(事業報告及び決算) この法人の事業報告及び決算については、毎事年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、総会に提出し、 第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならぬ。
	(1) 事業報告 (2) 事業書類の附属明細書 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書（正味財産増減計算書） (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書 (6) 財産目録	(1) 事業報告書 (2) 事業報告書の附属明細書 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書（正味財産増減計算書） (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書 (6) 財産目録

公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款	公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款 (修正案)
前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般的閲覧に供するものとする。	2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般的閲覧に供するものとする。
(1) 監査報告 (2) 理事及び監事の名簿 (3) 理事及び監事の報酬等の支給基準を記載した書類 (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類	(1) 監査報告 (2) 理事及び監事の名簿 (3) 理事及び監事の報酬等の支給基準を記載した書類 (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
(公益目的取得財産残額の算出) 第41条 会長は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。	(公益目的取得財産残額の算出) 第40条 会長は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。
第8章 定款の変更及び解散	第8章 定款の変更及び解散
(定款の変更) 第42条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。	(定款の変更) 第41条 この定款は、総会の決議その他の法令で定められた事由により解散する。
(解散) 第43条 この法人は、総会の決議その他の法令で定められた事由により解散する。	(解散) 第42条 この法人は、総会の決議その他の法令で定められた事由により解散する。
(公益認定の取消し等に伴う贈与) 第44条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合、又は合併による法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときはを除く。)には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1ヶ月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	(公益認定の取消し等に伴う贈与) 第43条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合、又は合併による法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときはを除く。)には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1ヶ月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。
(残余財産の帰属) 第45条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。	(残余財産の帰属) 第44条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

		公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款	公益社団法人 東京都放射線技師会 新定款 (修正案)
第9章 公告の方法	(公告の方法)	第9章 公告の方法	(公告の方法)
第46条 この法人の公告は、電子公告により行う。	第46条 この法人の公告は、電子公告により行う。	第46条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。 2 支部は、事業計画に基づき、当該支部に関する事業を執行する。	第46条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。 2 支部は、事業計画に基づき、当該支部に関する事業を執行する。 3 支部は、理事候補者の推薦をすることができる。
第10章 支部	(支部)	第10章 支部	(支部)
第47条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。 2 支部は、事業計画に基づき、当該支部に関する事業を執行する。 3 支部は、理事候補者の推薦をすることができる。	第47条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。 2 支部は、事業計画に基づき、当該支部に関する事業を執行する。 3 支部は、理事候補者の推薦をすることができる。	第47条 この法人の事務を処理するたために、事務局を置く。 2 事務局には、必要な職員を置く。 3 職員は会長が任命し、理事会が選任する。 4 職員の事務分掌および給与等については、理事会の議決を経て会長が定める。	第47条 この法人の事務を処理するたために、事務局を置く。 2 事務局には、必要な職員を置く。 3 職員は会長が任命し、理事会が選任する。 4 職員の事務分掌および給与等については、理事会の議決を経て会長が定める。
第11章 事務局	(事務局)	第11章 事務局	(事務局)
第48条 この法人の事務を処理するたために、事務局を置く。 2 事務局には、必要な職員を置く。 3 職員は会長が任命する。 4 職員の事務分掌および給与等については、理事会の議決を経て会長が定める。	第48条 この法人の事務を処理するたために、事務局を置く。 2 事務局には、必要な職員を置く。 3 職員は会長が任命する。 4 職員の事務分掌および給与等については、理事会の議決を経て会長が定める。	附則 1 この定款は、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公認人設立の登記の日から施行する。 2 この法人の最初の会長は中澤靖夫とする。	附則 1 この定款は、一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公認人設立の登記と、公益法人の設立の登記を行つたときは、第36条の規定にかかわらず、解散の登記日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。 2 この法人の最初の会長は篠原健一とする。 3 一般社団法人及び一般財團法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財團法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行つたときは、第36条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

第7回 食道・腹部治療

東京放射線治療技術研究会
吉野 慎一（神奈川県立がんセンター）

はじめに

今回のテーマである食道・腹部治療では内容が多岐にわたる。そのためこれらの治療でも放射線治療の適応になりうる代表的な疾患に絞って解説をしていきたいと思う。

1. 食道癌

i. 放射線治療の適応

食道癌の治療方法は病期により分類される。現時点での病期ごとに選択される治療法を表1に示す。近年では表在癌、局所進行癌で化学放射線療法治療が標準治療となりつつある。また外照射のブースト(追加)照射として腔内照射が用いられる場合もある。

ii. 標準治療

原発巣はBa造影検査やCT,PET-CTなどを用いてGTVを決定する。それが困難な場合などは内視鏡での金属クリッピングを利用する。また触診やCT,MRI画像より総合的に転移があると判断されたリンパ節にも照射を行う。

照射は対向二門照射や四門照射などが用いられることが多い。また鎖骨上窩のリンパ節も同時に照射する際、その照射野の形状から「Long T」「Short T」と呼ばれることがある(図1)。

国内での標準的な線量は化学放射線治療では2Gy/1日で60Gy/30回/6~8週程度、放射線単独では60~70Gy/30~35回/6~7週であり、通常分割照射や加速分割照射が用いられる。図2に一般的な食道癌の線量分布を示す。また化学放射線治療に使用される薬剤はCDDP+5-FUが標準である。

iii. 治療成績

食道表在癌でのJASTRO研究グループの多施設集計データでは放射線治療単独で、粘膜癌の5年生存率、5年原病生存率はそれぞれ62%, 81%、粘膜下層癌の5年生存率、5年原病生存率はそれぞれ42%, 64%である。²⁾

進行癌の化学放射線治療成績は切除可能なII~III期(T4は除く)では3年生存率40~50%前後、T4/M1/LM1では3年生存率20%程度とされている。

iv. 合併症

早期有害事象では放射性皮膚炎、放射性食道炎、放射性肺臓炎があり、食道炎はほぼ発症する。晚期有害事象

表1 病期別食道癌の治療選択¹⁾

Stage		EMR	Surgery	RT	CRT
I	m	◎	○	○	○
	sm	-	◎	△	○
II		-	◎	△	○
		-	○	△	○
III	Non T4	-	○	△	○
	T4	-	-	△	◎
IVA		-	○	△	○

EMR: endoscopic mucosal resection RT: radiation therapy CRT: chemoradiation therapy

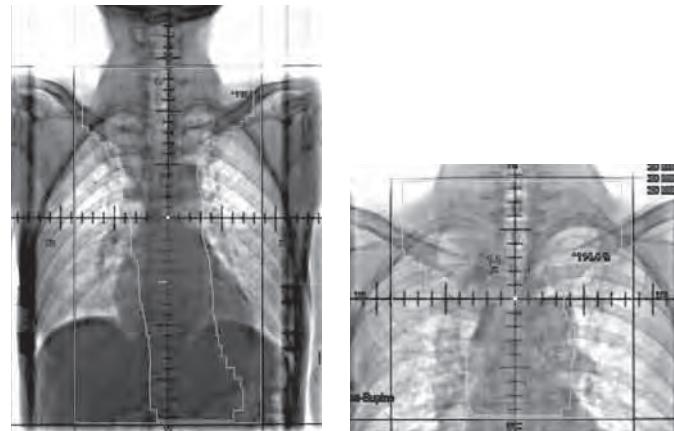
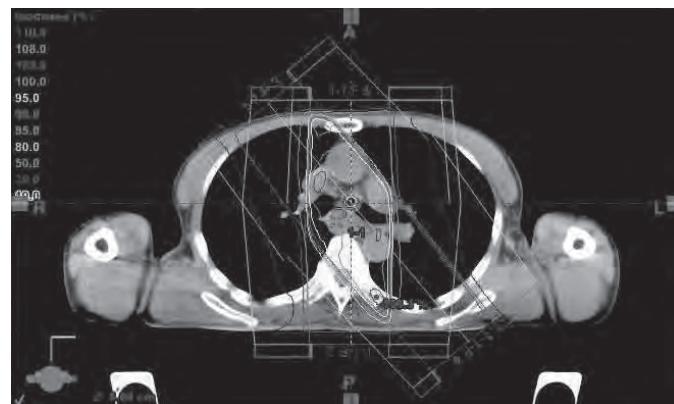


図1 道癌に用いられる照射野の一例(左: Long T, 右: Short T)

図2 一般的な食道4門照射の一例
心毒性低減のために前後方向と斜入方向4方向のビームを用いる。

では食道穿孔や出血が数%に発生する。また広い照射野を用いた場合は心囊液や胸水など重篤な晚期合併症が発生する可能性がある。³⁾そのため心囊水などの軽減を目的として4門照射や多門照射を行うところもある。

2. 直腸癌

i. 放射線治療の適応

直腸癌治療の第一選択は手術である。直腸癌の放射線治療の適用は術前及び術後の補助療法や緩和的治療などがある。欧米や欧州では下部進行直腸癌に対する手術の補助療法として術前化学放射線療法が標準とされている。

ii. 標準治療（範囲・線量）¹⁾

照射野は原発巣と領域リンパ節（傍直腸リンパ節、上方リンパ節、側方リンパ節）を含めたものが多く用いられる。図3に代表的な照射野の一例を示す。

体位は専用の固定具（ベリーボード）を用いて腹臥位にすると照射野内の腸管を減少させることができる。照射には後方及び両側方からの3門照射が多く使われている。図4に一例を示す。両側方のビームに若干の角度をつけることにより、腹側の照射範囲（腸管）を減少させている。線量は術前では40～50Gy/20～28回/4～5.5週、術後では50Gy/20～28回/5～5.5週が標準である。またヨーロッパでは放射線単独で25Gy/5回/1週の術前短期照射も行われている。⁴⁾

iii. 治療成績¹⁾

局所再発率はT3～4N0ないしN1～2で補助療法として術後に化学放射線療法加えた場合8～13.5%、切除不能例に外照射と術中照射を加えた場合16%、局所再発例に外照射と術中照射を加えた場合（局所再燃率）25～40%である。⁵⁾

5年生存率はT1～2N0が80～95%、T3～4N0ないしN1～2が4～75%、切除不能例が20～46%、局所再発例は5～20%である。

iv. 合併症

早期有害事象は下痢、恶心、膀胱炎、肛門痛、皮膚炎がある。晩期有害事象では頻便、瘻孔形成、腸閉塞、潰瘍形成などがある。

3. 肛門扁平上皮癌

i. 放射線治療の適応

肛門扁平上皮癌は化学放射線療法の感受性が非常に高く、永久人工肛門を回避できる点から第一選択とされる。また2cm以下でリンパ節転移や遠隔転移のない腫瘍（T1N0M0）は放射線治療単独で治療することもある。

ii. 標準治療¹⁾

解剖学的には上縁は岬角を含み、下縁は肛門縁を十分に含む。外側縁は鼠径リンパ節を十分含むように設定する。但し上縁については、照射野が大きくなることを考慮し、腫大したリンパ節がなければ、30Gy程度で仙腸関節下端まで縮小

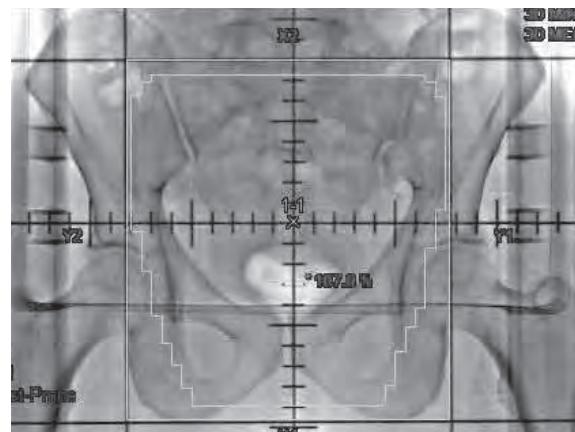


図3 直腸癌の照射野の一例

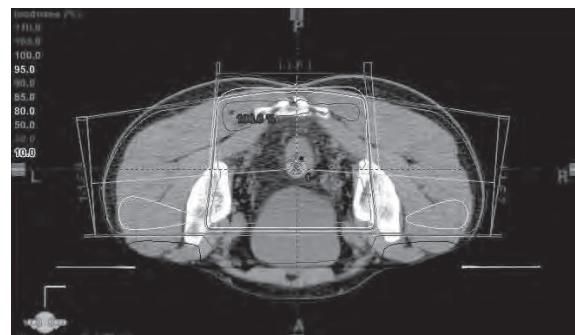


図4 ベリーボードを用いた直腸癌3門照射の一例
(ベリーボードにより腹部の一部の落ち込みが認められる)

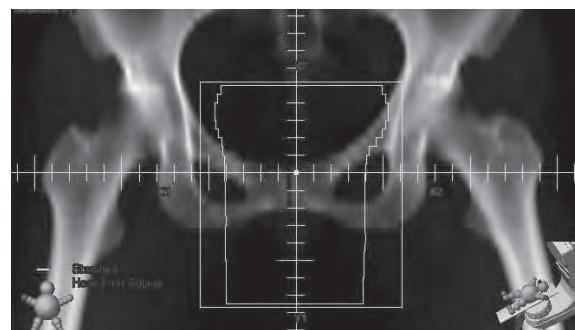
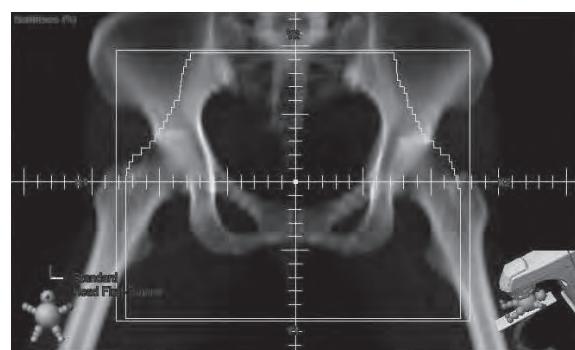


図5 肛門扁平上皮癌の照射野の一例
(上：鼠径部リンパ節を含む照射 下：鼠径部リンパ節を除いた縮小照射野)

することが推奨される。¹⁾ 図5に照射野の例を示す。

体位は肛門部の皮膚面の皮膚炎の影響を減少させるために、股関節を開いた状態で照射することが望ましい。そのため専用の固定具などを用いて股関節の開き方などの再現性向上すること必要である。図6に肛門扁平上皮癌の多門照射の線量分布の一例を示す。

線量は広範囲の照射や抗がん剤の同時併用を考慮して1.8Gy/日で行われる。総線量は54-59.4Gy/30-33回で行われる。鼠径リンパ節は36Gyで終了する。化学療法のレジメンは5-FU+MMCが標準治療である。また照射単独では60-70Gyが推奨される。

iii. 治療成績 ¹⁾

化学放射線治療での局所制御率は70~80%，5年生存率は65~80%程度である。肛門温存率は50~90%である。

iv. 合併症

早期有害事象は下痢、恶心、膀胱炎、肛門痛、皮膚炎、食欲不振などがある。また抗癌剤併用による白血球減少なども発生する。晩期有害事象では便失禁、瘻孔形成、腸閉塞、腸管狭窄などがある。腸管の照射体積を減らすことが重要である。

4. 膣癌

i. 放射線治療の適応

膵癌の中でも局所進行膵癌（切除不能であり、明らかな遠隔転移が認められない場合）は化学放射線治療（5FU+RT）が標準的治療法に位置づけられていた。しかしGEM化学療法が登場してからは生存期間中央値が化学放射線治療（5FU+RT）と変わらないためGEM化学療法も選択肢の一つと数えられる。

5. 原発性肝細胞癌

i. 放射線治療の適応

肝細胞癌の放射線治療は限られていて、根治を目的とした定位放射線治療や陽子線治療や重粒子線治療などが注目されている。しかし標準治療として確立はされていない。

謝辞

本資料を作成にあたり、御助言をいただきました室伏景子先生（がん研有明病院）をはじめ、スタッフ皆様のご協力に厚くお礼申しあげます。

参考文献

- 1) 放射線治療ガイドライン2008
- 2) 山田章吾, 根本建二, 高井良尋, 他:食道表在癌に対する標準的放射線治療法. 日放腫会誌 12 : 169-176, 2000.
- 3) Ishikura S, Nihei K, Ohtsu A, et al. Long-term toxicity after definitive chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the thoracic esophagus. J Clin Oncol 21 : 2697-2702, 2003.
- 4) Kapiteijn E, Marijnen CA, Nagtegaal ID, et al. Preoperative radiotherapy combined with total mesorectal excision for resectable rectal cancer. N Engl J Med 345 : 638-646, 2001.
- 5) Myerson RJ, Mohiuddin M, Rich TA. Rectal cancer. In : Clinical Radiation Oncology. Gunderson LL and Tepper J E eds, New York, Churchill Livingston, 2000, p728-747.
- 6) 国立がん研究センター内科レジデント編 がん診療レジデントマニュアル 第5版. 医学書院

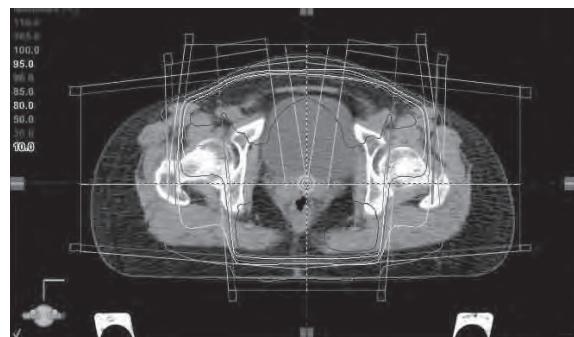


図6 肛門扁平上皮癌多門照射の一例

前後左右の4門照射に前方斜入による補正を行っている。

こえ

「サンマークシティまちびらき」印象記

帝京大学医学部附属溝口病院 池田 麻依

10月9日の秋晴れに恵まれた日曜日、「日暮里フェスティバル2011 サンマークシティまちびらき」が行われました。会場は日暮里駅前イベント広場で、(社) 東京放射線技師会(東放技)の事務所のすぐ近くでした。このイベントに東放技が参加するのは初めてだそうで、どのくらいの来場者なのか、どのような雰囲気で開催されるのかなど手探り状態でのスタートでした。

イベントは開会式で鏡割りが行われた後、ステージで都立竹台高等学校吹奏楽部やJR東日本東京吹奏楽団、その他地元の人達で結成されたグループによる演奏が終始行われ、参加している多くの方々が聴き入っていました。

ブースは、ステージと客席を囲むように設置され、実行委員会による福引や荒川区と友好交流都市である秩父市の荒川商工会、地元からはひぐらしの里の会や中華料理店などが出店していました。

東放技のブースでは「乳がんのしこり体験」「被ばく相談」「放射線検査の案内」が行われました。放射線の被ばくに敏感になっているこの御時世ですから、被ばく相談は殺到するであろうと予想していたのですが、全くと言って良い程そのような質問はありませんでした。予想外だったので大変驚きました。

私は今回のこのイベントに参加するにあたって事前

に目を通した乳がんの資料から、検診を受けるのは勿論ですが、さらに自分でチェックする事が重要であることを学んだので、一人でも多くの方に自分でチェックする方法を知って欲しいという想いで案内と体験をして頂きました。中には、「検診を毎年受けているから自分でチェックする必要ない」という方や「まだ若いから関係ない」と言われる方がいらっしゃいましたが、嬉しかったのは女性だけでなく男性も興味を持ってください「妻がなつたら大変だから」と体験しに来てくれた方が何人もいらっしゃったことです。乳がんの予防は早期発見しかありません。ですから一人でも多くの方に検診の受診を促し、その上でチェックする方法を身につけて欲しいと願っています。

今回このような貴重な体験をさせて頂いたことで、都民の方が乳がんに対してどのような意識をもっているのか知ることができました。この経験を生かし日常業務でも自分でチェックする方法を広めていきたいと思います。また、主催者の方から「このようなブースがあることは都民にとっても良いし、食のブースに加え体験できるものがあることは企画する方としてもありがたい」と言って頂いたことが嬉しかったです。また次回も参加したいと思いました。このような機会を与えて下さった広報部の皆様、ありがとうございました。



こえ

「サンマークシティまちびらき」に参加して

野村病院 長石亜希子

10月9日に日暮里で開催された「サンマークシティまちびらき」に広報部幹事として初めて参加させていただきました。

乳房ファントムを使用して、一般の方々に触診の体験をしてもらいました。また、自己チェックのやり方やその大切さをお伝えし、抱えている疑問に答えるという業務でした。

被ばくのことを心配して質問してくるかと思い、参考資料を読むなど準備をしていったのですが、被ばくについての問い合わせはなかったことに驚きました。

ファントムを触る体験を積極的にしようとする人が思っていた以上に少ないと驚きました。「私は大丈夫です」とか「もう歳とっているから必要ない」など、自分は例外と思っている人が多いという印象をうけました。実際に体験をしたほとんどの人々は、初

めは遠慮がちに触っていました。でもしっかりと奥の方まで探るようにしないと見つかりにくいことを、ファントムを使って理解していただけたようでした。セルフチェックの大切さや定期的に行う必要性をお話することもできました。

今回のイベントに参加させていただいて、どのような年齢層の人がどんな認識を抱いているのかを知ることができたと思います。年齢や境遇によって興味を持っている分野が違うことも実感しました。また、テレビや雑誌などからの知識しか持っていない人達に、わかりやすく説明することの難しさも実感することができました。どんな人にでも理解していただけるような説明ができるよう経験を積んでいきたいと思いました。

ありがとうございました。



こえ

「中央区健康福祉祭り」に参加して

杏雲堂病院 安田 知子

東京都放射線技師会の広報活動の一環として、10月23日に中央区保健所内で行われた「中央区健康福祉まつり2011～出会いと ふれあいと 感動と～」に参加してきました。当日は東京都放射線技師会の、のぼりを掲げ「放射線と放射線検査のQ&A」「乳がん触診体験」のブースを開設しました。

ブースでは、放射線検査や被ばくに関するパネルの掲示、そして乳房の視触診ファントムによる乳がんのしこり体験をしていただくなど、乳がん検診の啓発活動を行いました。

今回、私は乳がんのしこり体験を担当しました。ブースの前を通る方ほぼ全員に声をかけ、できるだけ多くの方に体験していただけるよう努力しました。その甲斐あって約160名の方に体験していただくことが出来ました。声をかけた中では、高齢の方で「もうこんな

年だから…」と言って手を振って通り過ぎていかれる方が多くおられました。普段、日常業務の中でも「こんな年になっても乳がんになるのですか？」と聞かれことがあります。乳がんは年齢に関係なく発症するがんだという事は、あまり知られていないことをあらためて感じました。また、小さいお子さんをお持ちのお母さんたちは、検診は受けていますか？と聞くと「タイミングがなかなか…」「もう何年も受けてないの」など、好発年齢の方々も意外と検診を受けられずにいるということもわかりました。まだ検診を一度も受けたことが無いという方も少なからずいて、この様な啓発活動に加え、検診を受けやすい環境づくりもさらに必要なのではないかと思いました。

今回このようなイベントに参加して、一般の方々とお話しする機会をいただき大変勉強になりました。



NEWS ひろい読み

放射線療法「ホウ素中性子捕捉療法」とは がんの新しい治療法研究などを進める政府方針

政府は、震災からの復興を後押しするため、福島県を最先端の医療拠点にして、がんの新しい治療法研究などを進める方針です。その中で実用化が期待されている放射線療法「ホウ素中性子捕捉療法」とは、どんなものなのでしょうか。

一原理や他の放射線療法との違いを教えてください。

「がん細胞にホウ素を取り込ませて、放射線の一種である中性子線を、人体に影響が少ない低エネルギーで照射します。すると、ホウ素と中性子が反応してアルファ線が出ます。アルファ線の飛距離は、細胞1個分以下と短いので、周りの正常細胞に影響を与えず、そのがん細胞だけを殺せます」

「他の放射線療法は、がん組織全体に治療効果のある放射線を当てるため、がん細胞周辺の正常細胞も傷つきます。ホウ素中性子捕捉療法は、原理的にはがん細胞だけを選択的に殺して、正常細胞をほとんど傷つけない画期的な治療法と言えます」

一ホウ素を、どのようにがん細胞に入れるのですか。

「一般的にがん細胞は増殖力が強いため、正常細胞よりもホウ素化合物を多く取り込みます。その性質を利用し、アミノ酸とホウ素の化合物を患者に点滴します」

「しかし、がんによってはホウ素化合物が十分集まらず、治療できない場合もあります。そこで、がん細胞に効率的にホウ素を集積させる研究が進められています」

一どんながんの治療に使えるのですか。

「細胞単位で効くため、形がはっきりしない浸潤性や多発性のがん治療に向きますが、中性子が入る深さが体表から7センチメートル程度なので、深い部分のがんには向きません。脳腫瘍や頭頸部がん、皮膚がん、肺がんなどが臨床研究で効果が示されています」

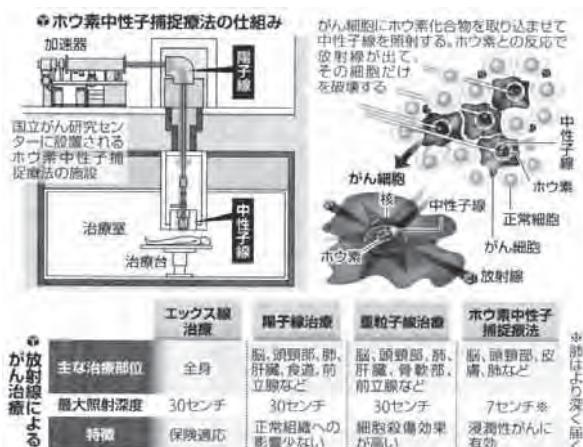
一日本は特に研究が進んでいるのですか。

「臨床研究を初めて行ったのは米国ですが、いまでは日本が世界をリードしています。京大原子炉実験所（大阪府熊取町）や日本原子力研究開発機構（茨城県東海村）などの原子炉を利用して多くの医療機関が臨床研究に参加、これまで数100件の治療が行われました」

一実用化は近づいているのですか。

「中性子の発生源は、これまで原子炉だけでした。病院から原子炉施設まで患者を運ぶ不便さがあり、臨床研究の進展に時間がかかりました。近年ようやくデータが蓄積されて、効果が実証されつつあります」

「原子炉に代わる中性子源として小型加速器の開発も進んでいます。加速器は、陽子や電子などの粒子を加速して飛ばす装置です。円形や直線の加速器で作った陽子線を、ベリリウムやリチウムなどの金属に当てた時に生じる中性子線を利用します。加速器は原子炉よりも操作が簡単で、病院の建物内にも設置できます。臨床研究が飛躍的に進み、実用化への大きな一歩になると期待されます」



一小型加速器を中性子源とした臨床試験は、どこで行われる予定ですか。

「京大原子炉実験所では、住友重機械工業の加速器で生物実験を行っており、来年度には臨床研究を始める予定です。同実験所粒子線腫瘍学研究センター長の小野公二教授によると、将来は治療がしやすいように、施設を京大病院の分院にすることも検討したいそうです」

「病院内では世界初となる臨床研究を目指しているのは、国立がん研究センター（東京都中央区）です。株式会社CICS（東京都江東区）と共同で、2013年10月完成予定の建物の地下に、小型加速器を設置して臨床研究に取り組みます」（藤田勝）（11.20読売）

直下型地震想定のB C P/都立8病院で作成 東京都 来年度までに

東京都は2012年度中に都立の全8病院で、地震などの非常時に応じた事業継続計画（BCP）を作成する。首都圏で直下型地震が起きた場合を想定し、入院患者の安全確保策や非常用電源で対応できる医療体制などをまとめる。東日本大震災で被災地に派遣された医師などの教訓も生かし、災害時でも医療を継続できる体制を整える。11年度中に救命救急室（ER）がある4病院で作る。モデルケースとして広尾病院（渋谷区）で作成し、その後、墨東病院（墨田区）、多摩総合医療センター（府中市）、小児総合医療センター（同）でまとめる。残りの4病院は12年度中に作る。具体的には首都圏でマグニチュード7.3の直下型地震が発生したケースを想定。入院患者の安全確保の方法や負傷者受け入れの優先順位、医師や看護師の最低必要人数などを検討する。都立病院には通常時の6割の電力を、「3日間供給できる非常用電源がある。計画ではこの電力供給量で対応できる医療内容なども決める。電子カルテシステムが動かなくなってしまった場合の代替運用や、周辺の医療機関との連携体制も協議する。広尾病院では来月にもBCP策定検討会議を開催。院長や救命救急、看護部、施設整備の担当者などが民間のコンサルタント会社の助言を受けながら細部を詰める。（10.28日経産業）

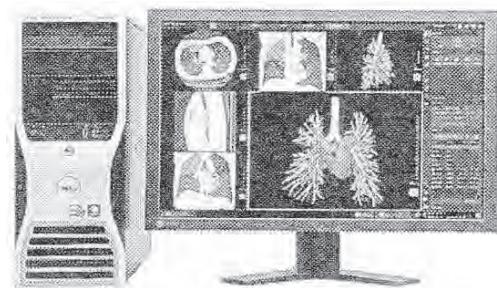
放射線防護服の重さ軽減/人の歩行などを支援するロボットスーツHAL

筑波大学発ベンチャー企業のサイバーダイン（茨城県つくば市）は人の歩行などを支援する装着型機械「ロボットスーツHAL」で、重い放射線防護服を着用しながら作業ができる新タイプ（写真）を開発した。東京電力福島第1原子力発電所の事故をきっかけに開発した。放射線の被ばくを減らしながら作業するにはタンゲスデン製の防護服がすでにあるが、非常に重いため長時間の作業が困難なのが実情。今回開発した災害対策用は最大60キログラムの防護服まで支えることができ、重量負担作業できる。これは放射線量をほぼ半減できる防護服の重量という。欧州向けの医療・福祉用モデルをもとに改造した。防護服をつり上げる肩の上まで伸びたフレームを取り付けたほか、強度を高め、バッテリーも増やした。可動時間は1時間30分程度。もともと下肢を支援するモデルなので重い荷物の持ち上げなどを補助する機能はないが、防護服で安全性を高めながらできるようになる。当面、原発事故現場で活用してもらうことを期待している。（つくば）（11.8日経産業）



呼吸器領域3D表示、富士フィルムが開発

富士フィルムは呼吸器領域でも使える3D（3次元）画像解析システム「シナプスヴィンセントV3」（写真）を開発し、子会社の富士フィルムメディカルを通じて販売を始めた。コンピューター断層撮影装置（CT）などで撮影した画像を3D表示する。CTや磁気共鳴画像装置（MRI）などで撮影した画像を同社独自の画像処理技術「イメージインテリジェンス」で3D表示する。1ミリメートル以下の気管支や肺動脈、肺静脈の細部の微細部分も表現できるという。病状を詳しく把握し、患者への処置を事前にシミュレーションする時に役立つ。データは一括で集中管理するサーバー内で保存するため、利用者は院内ネットワークのどの端末からでもアクセスすることができる。同社は2008年から「シナプスヴィンセント」シリーズを循環器や消化器などの領域向けに発売していたが、呼吸器領域でも利用したいとの要望を受け、このほど発売を決めた。国内での販売状況を見ながら、今後、海外への展開も視野に入れるとしている。（11.7日経産業）





第11回多摩支部研修会

テーマ：「上部消化管X線検査 読影の基礎」

講師：(財)早期胃癌検診協会 中央診療所 吉田諭史 先生
(NPO日本消化器がん検診精度管理評価機構 運営委員)

平成23年度の多摩支部研修会は、上部消化管X線検査における読影の基礎について開催いたします。

昨年度は多摩支部の12地区研修会において春に「基準撮影法について」、冬に「いまさら聞けないバリウムの基礎」をテーマに開催し多くの皆様にお集まりいただきました。

今回はその第3弾として場所を多摩支部研修会に移して開催いたします。テーマに読影の2文字がありますが昨今議論されている「読影の補助」とは別に、良い検査を行う為に、そして医師に対して適切なサポートを行う為に必要な知識・技術の一つとして、胃と胃癌についてもう一度基礎固めをしたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成24年1月20日（金）19時15分～20時45分（受付開始18時30分～）

場 所：国分寺労政会館 4階 第4会議室

参 加 費：1,000円（新卒新入会・学生 無料）

懇 親 会：近隣にて（当日ご案内いたします）

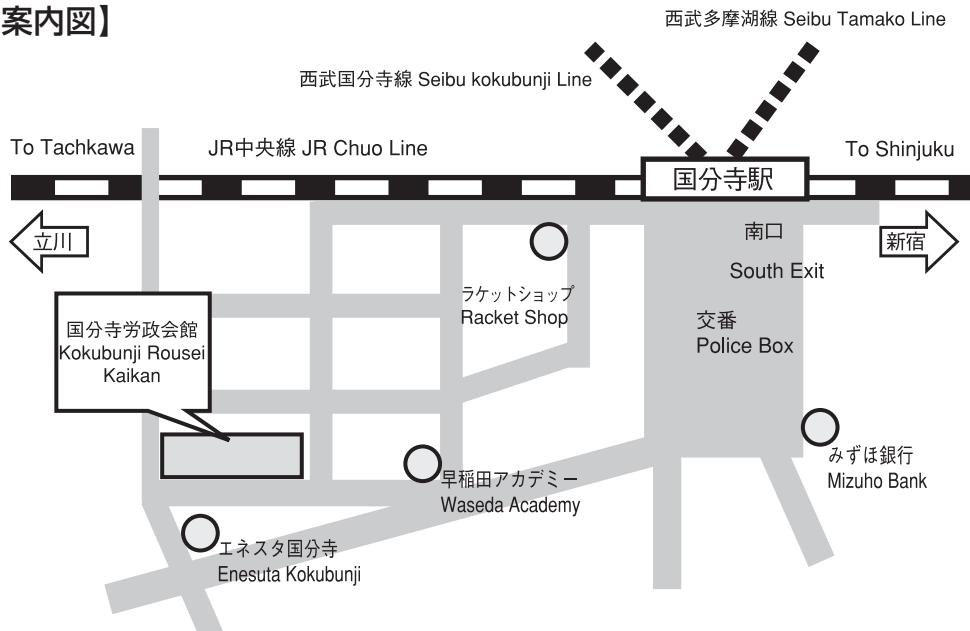
問 合 せ：第12地区 篠田 浩 E-Mail：area12@tart.jp 公立昭和病院 TEL：042-461-0052

第13地区 川崎政士 E-Mail：area13@tart.jp 大聖病院 TEL：042-551-1311

第12地区ホームページ (<http://www.zephyr.dti.ne.jp/area12-tart/>)

以上

【案内図】





第12地区研修会

テーマ：市民からの質問に答えられていますか

福島第1原発の被災後、日本全国から多くの放射線技師が避難住民や遺体のサーベイのために、福島県において活動してきました。また、都内でも東京ピックサイトや味の素スタジアムなどの避難所において、避難住民のサーベイを東京消防庁から引き継ぎ実施いたしました。これらにより医療における診療放射線技術の専門家としてだけではなく、放射線の専門家集団として社会的に認知されてきています。昨今、新聞には $\mu\text{Sv}/\text{h}$ や Bq などの単位が並び、市民が安価な測定器で地域を測定して回るなど、にわかサーベイヤーが増えているようです。私たち診療放射線技師においても治療や核医学などを担当していないと測定器の操作に不慣れであったり、また測定器を保有していない施設もあること思います。

今回の地区研修会ではメーカーから講師を招聘し、被ばくに関する質問に対応するためのノウハウや、各種測定器の特性や測定法・各種数値の意味についてなど、もう一度復習をしてみたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

記

日 時：平成24年2月18日（土）15時30分～（受付開始 15時00分～）

（情報交換会は17時00分頃から近隣にて予定）

場 所：佐々総合病院 1階講義室

参 加 費：500円 新卒新入会員・学生無料

ア クセス：西武新宿線 田無駅北口より徒歩5分

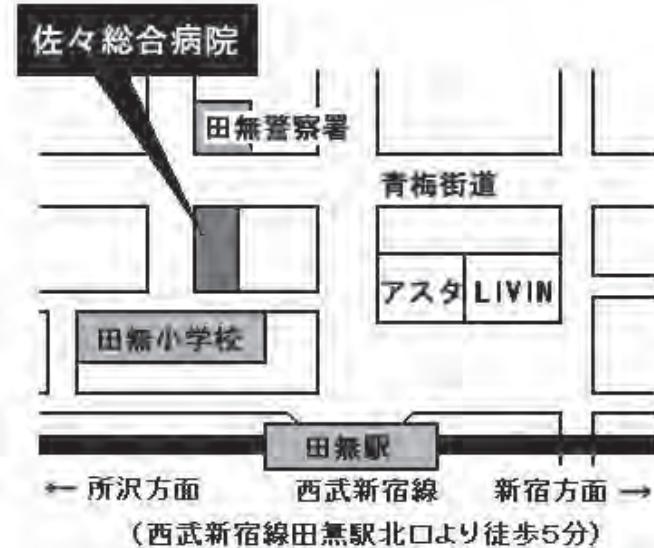
問 合 せ：伊藤俊一（佐々総合病院） 042-461-1535

篠田 浩（公立昭和病院） 042-461-0052

12地区ホームページ：<http://www.zephyr.dti.ne.jp/area12-tart/>

以上

【案内図】



*当日は青梅街道側の正面玄関からお越し下さい、会場へは係りの者がご案内いたします。



MRI advanced technology seminar

(日本磁気共鳴専門技術者認定機構認定研究会)

第四回開催の御案内

謹啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、下記の内容にて開催させていただくことになりました。御多忙中とは存じますが、皆様奮って御参加いただければ幸いです。

謹白

開催日時：平成24年1月21日（土曜日）13時15分～17時20分

開催場所：東京コミュニケーションオフィス 2F会議室

会 費：1000円（配付資料代含む）

プログラム

13：15～13：30 MRI関連薬剤に関する情報提供

演者：エーザイ株式会社

ご担当者様

13：30～14：10 MRI撮像技術の基礎（拡散強調画像）

座長：北里大学医療衛生学部

尾崎正則先生

演者：国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 放射線科 高橋光幸先生

14：10～14：30 論文調査報告（fMRI）

座長：東京大学医学部附属病院

後藤政実先生

演者：首都大学東京 人間健康科学研究所 放射線学域 笠原和美先生

14：30～15：30 MRI臨床（乳腺検査・頸動脈プラーク検査）

座長：東海大学医学部付属病院

堀江朋彦先生

演者：北里大学病院

秦 博文先生

：メディカルサテライト八重洲クリニック 米山正己先生

Coffee break（10分）

15：40～16：00 論文投稿報告

座長：東京大学医学部附属病院

後藤政実先生

演者：慶應義塾大学医学部生理学教室

疋島啓吾先生

16：00～17：20 RSNA 2011でのトピックス

座長：日本医科大学付属病院

土橋俊男先生

演者：G E ヘルスケア・ジャパン株式会社

ご担当者様

：株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

ご担当者様

：シーメンス旭メディテック株式会社

ご担当者様

：東芝メディカルシステムズ株式会社

ご担当者様

会終了後より簡単な意見交換会（別途参加費：1000円）を準備しております。

共催 MRI advanced technology seminar/エーザイ株式会社



パイプライン

超音波画像研究会よりお知らせ

第8回 ワンバイツー講習会（上腹部超音波実技講習会）

日 時：平成24年1月29日（日）8時45分～17時00分

会 場：中央医療技術専門学校新館2F視聴覚教室

〒124-0012 東京都葛飾区立石3-5-12

募集対象者：初心者（経験1年くらいまでの方）

定 員：先着12名

参 加 費：会 員20,000円（昼食代含む）

新入会23,000円（入会金 昼食代含む）入会を希望する方

会員外25,000円（昼食代含む） 入会を希望されない方

内 容：超音波装置を使っての実技（装置1台につき受講者2名）

申込方法：ご連絡先を明記して Uskenkyukai@aol.com へ電子メールにてご連絡ください。

詳しくはホームページ <http://us-image.kenkyuukai.jp/> をご覧ください。

問 合 せ：公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団 放射線 安納（アンノウ）

TEL (0422) 51-2828 (16:00～17:00にお願いします。)

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成23年度

1. 学術研修会

☆ 第10回ウインターチューニングセミナー 平成24年1月28日（土）

2. きめこまか人生涯教育

第45回きめこまか人生涯教育 平成24年2月15日（水）～16日（木）
21日（火）～22日（水）

☆ 3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第7回日暮里塾ワンコインセミナー 平成24年1月17日（火）

☆ 4. 支部研修会

多摩支部研修会 平成24年1月20日（金）

城西

5. 地区研修会

第12地区研修会 平成24年2月18日（土）

関連団体【後援】

MRI advanced technology seminar 平成24年1月21日（土）

第34回消化管造影技術研修会 平成24年1月27日（金）～29日（日）【2泊3日】

超音波画像研究会 平成24年1月29日（日）

(社)日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 第44回放射線部会学術集会

第27回結核予防会マンモグラフィ技術講習会 平成24年2月4日（土）

日本消化器画像診断情報研究会第24回東京大会 平成24年2月10日（金）～12日（日）

日本消化器画像診断情報研究会(日消研)第2回セミナー開催 平成24年2月25日（土）

日本消化器画像診断情報研究会(日消研)第2回セミナー開催 平成24年3月10日（土）

☆印は新卒新入会無料招待企画です。

（新卒新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

第34回消化管造影技術研修会のご案内

主催：日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会

後援：(社)日本放射線技師会、(社)東京都放射線技師会、日本消化器画像診断情報研究会

日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会では毎年、消化管造影検査に携わる放射線技師を対象に、消化管造影技術研修会を開催しています。この研修会は、検査中に異常を素早く判断できる知識と、関心部位の適切な表現を可能とする造影技術及び、読影法の習得を目的とし合宿制で実施しています。

各講師陣による内容の深い講義及び持参フィルム検討会と技術指導は毎回多くの受講生より好評を得ております。この機会に是非受講していただけますようご案内申し上げます。

記

開催期日：平成24年1月27日(金)～29日(日) 2泊3日

研修時間：9時から17時（最終日は9時から15時まで）

研修会場：日本青年館ホテル 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1 TEL 03-3401-0101

受講資格：消化管造影検査に係わりのある方ならどなたでも受講できます。

受講費用：日本消化器がん検診学会正会員又は支部会員 50,000円

非会員 70,000円

前日宿泊：研修日の前日（1月26日）に宿泊希望の方は、前泊費用の8,000円を加算して下さい。

募集人数：約80名

申込締切：平成23年12月25日

申込方法：

1.メールにて受講予約をして下さい。予約受付のメールを返信致します。

(1)宛先：s.kenshuukai34@gmail.com（全て半角）

(2)件名：「第34回消化管造影技術研修会受講申込み」

(3)内容：①氏名 ②施設名 ③電話番号 を明記してください。

2.受講費用（および前泊費）を下記口座に振込んで下さい。

振込み先：みずほ銀行 江戸川橋支店（店番号545） 口座番号(普)1134339

口座名 日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会

3.受講申込書に必要事項を記入し、振込み証明のコピーを添えて下記事務局へ郵送して下さい。

事務局：神奈川県労働衛生福祉協会 放射線科 消化管造影技術研修会事務局

〒242-0017 神奈川県大和市大和東3-10-18 Fax 046-262-9511

4.受講申込書受領後、受講案内を発送します。

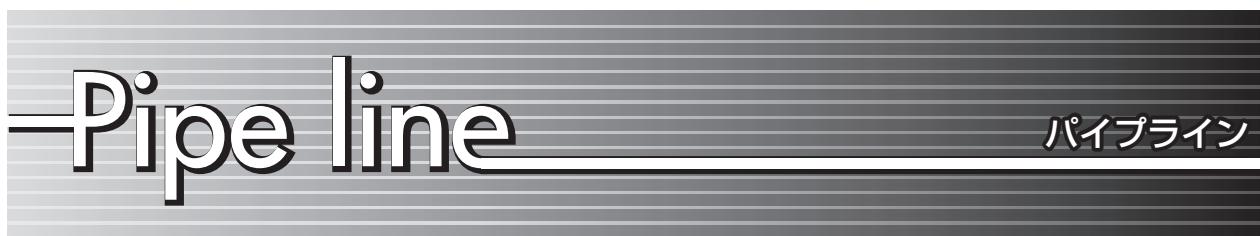
問合せ先：E-mail s.kenshuukai34@gmail.com または上記事務局へFaxでお願いします。

以上

第34回 消化管造影技術研修会プログラム

	27日 (金)	28日 (土)	29日 (日)
8:30			
9:00	受付開始(8:45) オリエンテーション 福岡良和 9:15~	大腸X線検査法 講師：腰塚慎二 技師 (8:30-9:20)	デジタル撮影装置の保守と管理 講師：埋橋喜次 技師 (8:30-9:20)
9:30			
10:00	胃がん検診専門技師認定と読影補助について 木村俊雄 (9:30-10:10)		
10:30	胃X線検査の基礎I—基準撮影法について— 講師：黒木幹夫 技師 (10:15-11:10)	胃癌組織発生からみた胃癌の診断 —胃癌の三角— 講師：中村恭一 医師 (9:30-10:50)	デジタル画像の臨床 &造影剤に求ること 講師：杉野吉則 医師 (9:30-10:40)
11:00			
11:30	胃X線検査の基礎II—検診の実際— 講師：見本真一 技師 (11:15-11:50)	胃癌のX線診断I —症例に学ぶ— 講師：入口陽介 医師 (11:00-12:20)	食道X線診断学 講師：八巻悟郎 医師 (10:50-12:00)
12:00			
12:30	昼 食		講評 持参フィルム総合評価 見本真一・黒木幹夫・植村博次
13:00		昼 食	昼 食
13:30	胃がん検診における所見用語 講師：高田恵子 技師 (13:00-13:50)		
14:00			Ba検査の危険 一般的なリスクについて 講師：佐藤一雄 技師 (13:30-14:10)
14:30	前壁撮影のテクニック 講師：木村俊雄 技師 (14:00-14:50)	胃癌X線診断II —肉眼・組織所見との対比— 講師：馬場保昌 医師 (13:30-14:50)	胃がん検診における統計の基礎 講師：植村博次 技師 (14:15-15:00)
15:00			
15:30	実験 —硫酸バリウム造影剤の特性— 講師：伏見製薬株式会社 (15:00-15:50)	胃X線画像の読み方と考え方 講師：吉田諭史 医師 (15:00-16:20)	総括地方会代表世話人 林 學医師 閉講式
16:00			
16:30	胃X線検査のピットホール —横胃の撮影法— 講師：工藤泰 技師 (16:00-16:50)		
17:00			
17:30	病変描出手技 —追加撮影のポイント— 講師：本田今朝男 技師 (17:00-17:50)	症例検討会 指導：吉田諭史医師 司会：佐藤清二技師 (16:30-17:50)	
18:00			
18:30	夕 食		
19:00			
19:30	持参フィルム検討会 (間接・直接・DR別グループ討論) 講師：実行委員 (19:00-20:30)	交流会 (18:00-20:00)	
20:00			司会：宮田和則
20:30	個別検討あり(希望者)		

※講師の都合により変更になる場合があります。



社団法人 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第44回放射線部会学術集会

学術集会 会長 滝口 裕

このたび、日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第44回放射線部会学術集会千葉大会の大会長を拝命いたしました千葉衛生福祉協会の滝口裕と申します。この大会は平成24年2月4日に千葉市文化センターにて開催される運びとなりました。消化器検診に携わる診療放射線技師はもちろんのこと多くの医療人のスキルアップ、そして一般市民の健康増進を最終目的としてプログラムを企画いたしましたので、診療放射線技師はもちろんのこと他業種の皆様もお誘いあわせの上ご参加いただければ幸いです。

今学術集会の特色は、文化講演と特別講演を一般公開講演としたことと、多くの他団体との協働を実現させたことです。また、メインテーマは「医食同源」とさせていただきましたが、過去のテーマと比較すると不真面目に感じるという諸先輩の声も聴きつつ我儘を通していただきました。今までにない学会にしようというコンセプトのもと、へそ曲がりの私をはじめ、もっとへそ曲がりな実行委員達の熱意も強く、一風変わった学術集会になりそうですが、内容的にはすべてが貴重な講演ばかりであることは確信しております。

同日に隣のビルで開催される「放射線技術学会第58回関東部会研究発表大会」との全面的な共同開催は諸事情のため断念いたしましたが、協議を重ね参加者のためになるよう、機器展示と懇親会は共同開催できることとなり、またお互いの会場へのフリーパス（日消研会場は全面フリー、技術学会会場は制限あり）も実現したことはまことに喜ばしく思っております。ようするに各会場にて別々に参加券を購入しなくてもよいことになりますので経済的に考えてもお財布に優しいということになります。

また、社団法人千葉県放射線技師会の共催を賜り、日本放射線技師会をはじめ各県放射線技師会、多くの医療施設、学術団体、千葉県、千葉市などの後援もいただき物理的経済的な援助は感謝に耐えません。認定技師の件も含め今後は職能団体との協調および他団体との共和は避けて通ることはできないと考えますので、今後の学会開催に当たり一石を投じた形になればうれしく思います。日消研と技術学会と診療放射線技師会が交わった懇親会はどのようなものになるか皆様楽しみにしていてください。

プログラムの内容を簡単に説明いたします。

文化講演1の社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会理事長、植野先生の講演は、最低限知っておきたい手話の講習や耳の不自由な方からの目線にて貴重な体験談も交えたお話をさせていただきます。多くの放射線技師はこの分野において非常に立ち遅れており悪く言えば学校教育でも触れられぬがしろにしている諸兄がたくさん存在していることも鑑み企画されたものです。とくに消化器検査は遠隔操作がおもな作業であることから、最低限の手話教育は必須と考えられます。

文化講演2は千葉県栄養士会の全面協力のもと、テーマに沿った胃癌と食事の関係を軸として学校法人食糧学院の石井國男先生に講演していただきます。そのほかには、食物の胃の通過時間や消化機能など貴重なデータも発表される予定ですので、消化器検査に関わる皆様には必見と考えます。

文化講演3は、NPO法人がんコントロール協会理事長の森山先生に講演していただきます。著作も多くたくさんのファンを持つ森山先生の講演も医療人には必見です。私もファンの一人として是非拝聴していただきたくお願い申し上げます。拝聴後は皆さまもファンの一人になることは間違ひありません。食事とがんの関係やメカニズムも違った視点から考えることは私たちにとって決してマイナスになることはありません。まさに「目からウロコ」となることは保証いたします。

ランチョンセミナーでは「株式会社AZE」および「味の素ファルマ」協賛で、最新の画像解析について講演して頂きます。

特別講演では皆様ご存知の「鴨川シーワールド」獣医師、勝俣先生の講演です。NHKの「プロフェッショナル仕事の流儀」、テレビ東京の「ソロモン流」などに出演されており、さらにラジオや雑誌でも取り上げられているので超多忙で人気者ですが、今大会のコンセプトと実行委員の熱意も伝わり今学会でお話をさせていただけた運びとなりました。シャチやトドを相手にした内視鏡検査の苦労話や海獣の消化器疾患の貴重な講演を期待できます。とにかくお話をおもしろく飽きさせません。

以上が一般公開となります。会場は500人以上収容可能ですので、もれなく着席できると考えております。

午後は会員からの一般演題発表となります。6演題を予定しております。

教育講演1は改めて紹介するまでもない亀田MTGクリニック院長、光島徹先生のCTCの講演となります。CTを用いた新しい検査法の有用性について講演して頂きます。教育講演2は早期胃癌検診協会の長浜隆司先生の講演となります。この講演では、早期の状態でがんを発見するための方法を講演を通して早期発見の重要性、さらにがん検診の有用性を理解して頂きます。教育講演3は、千葉県放射線技師会、小原修会長の講演となります。法令グレーゾーンの落とし穴を解説していただきます。先日、千葉県下にて各医療団体や警察、関係官庁をも巻き込んだ注腸カテーテル挿入問題の顛末も含め見逃すことのできない講演です。

以上、簡単ですがプログラムの内容を説明させていただきました。参加費3000円、懇親会費5000円、で予定しております。実のある学術大会となるよう準備を進めておりますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

記

開催日時：2012年（平成24年）2月4日土曜日 9:30～18:00（開場は9:00）

開催場所：千葉市文化センター3F アートホール 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1

参加費：3,000円

懇親会：5,000円（放射線技術学会第58回関東部会研究発表大会との合同懇親会）

第44回学術集会会長：滝口 裕、 実行委員長：山崎 英孝

文化講演1 9:50～10:30 「消化管検査における情報保障について」

社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会 理事長 植野圭哉 先生

文化講演2 10:35～11:15 「消化器検査（疾患）と食事」

社団法人 千葉県栄養士会 副会長 石井國男 先生

文化講演3 11:20～12:20 「食と栄養・ミネラル・ビタミン欠乏症」

NPO法人がんコントロール協会 理事長 森山晃嗣 先生

ランチョンセミナー 12:25～13:05 「CT Colonography ソフトウェアの現状」

（株）AZE 味の素ファルマ（株）

特別講演 13:10～14:10 「海獣の食事の話 —大食漢は誰だ—」

鴨川シーワールド 獣医師 勝俣悦子 先生

一般演題発表 14:10～15:10 会員からの一般演題発表

教育講演1 15:10～16:10 「対策型大腸がん検診における新しい精検法としてのCTコロノグラフィー」

医療法人鉄蕉会幕張事業部長 医療法人鉄蕉会亀田MTGクリニック 院長 光島 徹 先生

教育講演2 16:10～17:10 「精密胃X線撮影から学ぶ早期胃癌描出のコツ」

早期胃癌検診協会中央診療所 所長 長浜隆司 先生

教育講演3 17:10～17:40 「診療放射線技師業務と法律 ~グレーゾーンの落とし穴~」

社団法人 千葉県放射線技師会 会長 小原 修 先生

閉会式 17:40～18:00 部会報告・記念式典・閉会式

Pipe line

パイプライン

日本消化器画像診断情報研究会 第24回東京大会 —求められる消化管画像の精度について—

日 時：平成24年2月25日（土）9時20分～18時40分

会 場：文京シビックホール 東京都文京区春日1-6-21

*地下鉄後楽園駅（丸の内線、南北線）春日駅（三田線、大江戸線）徒歩1分

JR総武線水道橋駅徒歩9分

参加費：3,000円 抄録費：1,000円

主 催：日本消化器画像診断情報研究会

後 援：社団法人日本放射線技師会、社団法人東京都放射線技師会、社団法人神奈川県放射線技師会

公益社団法人日本放射線技術学会東京部会、日本消化管画像研究会

プログラム					
	第1会場 2階 小ホール		第2会場 地下1階 多目的ホール		
9:00 受付開始					
9:20 開会挨拶					
9:30 一般演題 I					
10:20 一般演題 II					
11:30 特別講演 I 杉野 吉則（慶應義塾大学病院）			10:30 特別講演 III 森本 肇（聖マリアンナ医科大学病院）		
12:30 休憩			12:00 休憩		
13:30 日本消化器画像診断情報研究会総会					
14:00 特別講演 II 馬場 保昌（安房地域医療センター）			14:00 ライブセミナー 長谷川 雄一（成田赤十字病院）		
15:00 パネルディスカッション 「求められる消化管画像の精度 について」			15:20 特別講演IV 大熊 潔（慶應義塾大学病院）		
16:30 症例検討会 入口 陽介（東京都がん検診センター）			16:30 症例検討会 関口 隆三（栃木県立がんセンター）		
18:00 一般演題最優秀賞表彰式					
18:20 次期大会長挨拶					
18:30 閉会挨拶					
10:00 区民公開講座 細井董三（東京日立病院健診センター顧問） 25階 効体ホール			14:00 CTCハンズオン (予約制) 地下1階 練習室		
19:00 懇親会 25階 カイホール 会費：6,000円					

詳細（事前登録、CTCハンズ オン予約等）は大会HPよりお願ひいたします。

<http://nsk24thtokyo.kenkyuukai.jp/>

大 会 長：出島 肇（株式会社日立製作所 小平記念東京日立病院）

実行委員長：長岡 学（神奈川県厚生農業協同組合連合会 相模原協同病院）

大会事務局：〒113-0034 東京都文京区湯島3-5-7

株式会社日立製作所小平記念東京日立病院 水口真由美

電話番号 03-3831-2181

日本消化器画像診断情報研究会(日消研)第2回セミナー開催

日本消化器画像診断情報研究会

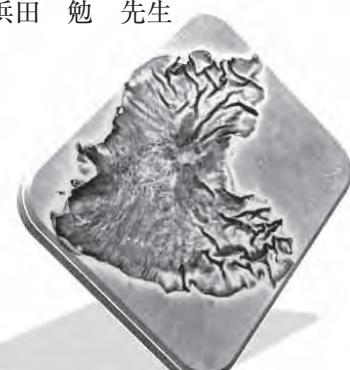
会長 埋橋 喜次

会員の皆様、日常業務の多忙のなか当研究会の活動に御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、今年度執行部の改選に伴い新たな活動を始動させて頂いています。従来は、年1回の全国大会と年2回発行される会誌により情報の共有化を行ってまいりましたが、有益な情報を会員で共有すると共に、人と人のつながりを大切にする会に育てたいと思っております。

従いまして、執行部としましては会員の皆様と接する場を設け、会員の皆様に有益な企画を提供する意味より下記日程にてセミナーを開催いたします。

記

- 1 日 時：平成24年3月10日（土）12時45分より18時15分（受付12時～）
- 2 場 所：宮崎レマンホテル 「ハマユウ」 （TEL：0985-53-1131）
宮崎県宮崎市京塚1丁目5番2号（宮崎空港から車で約10分）
- 3 テーマ “消化管X線検査学 基礎の基礎”
- 4 対象者 初心者・中級者を対象にした講演内容です。 定員：100名程度
- 5 講義内容及び講師予定
 - 1) 12:45~12:50 会長挨拶：埋橋 喜次
 - 2) 12:50~13:15 「バリウム製剤の物理的性質と特性」
(株)堺化学工業 医療事業部 主任研究員 山本 淳二 氏
 - 3) 13:20~13:45 「CT Colonography Update」 - CTCの最新臨床応用 -
(株)東芝メディカルシステムズCT事業部 宮谷 美行 氏
 - 4) 13:50~15:00 X線像と内視鏡像の対比ABC（X線像読影を指向して）
—食道病変の撮影法と読影法—
アジュール竹芝総合健診センター 所長 八巻 悟郎 先生
 - 5) 15:05~16:25 X線像と内視鏡像の対比ABC（X線像読影を指向して）
—胃癌の成り立ちを考える—
東京都がん検診センター 消化器科部長 入口 陽介 先生
 - 6) 16:30~17:50 X線像と内視鏡像の対比ABC（X線像読影を指向して）
—胃隆起性病変（上皮性・非上皮性）の捉え方と鑑別—
長崎県平戸市国民健康保険度島診療所 所長 浜田 勉 先生
 - 7) 17:55~18:00 閉会 セミナー受講証 配布
 - 8) 18:30~ 情報交歓会（3,500円別途徴収致します。）
- 6 会 費：日消研会員 1,000円 日消研非会員 3,000円
当日入会者 無料（但し、次年度研究会年会費として3,000円を頂戴いたします。）
- 7 申込/問合せ先：日消研第2回セミナー事務局
社会保険宮崎江南病院放射線部 森岡祐平（TEL:0985-51-7575）
Mail : morioka.houka@gmail.com
- 8 募集開始日：2011年12月より（定員になり次第締め切ります。）
上記アドレスのみ対応致します。まずは、メールにてご連絡ください。



News

1月号

議事

1) 平成24年度事業計画総括案について

文章を一部訂正する。【全会一致で承認】

※後日訂正箇所済みで再度配信予定

2) 平成26年度全国診療放射線技師学術大会（東京大会）

の選出について

立候補する。【全会一致で承認】

※平成21年度に東京大会が開催され、今回立候補し東京が依頼されれば、前大会より5年後の開催になります。立候補しても他県からの選出もあらため、必ず東京大会が行われるということではありませんが次世代への引き継ぎ等も含め立候補の検討をお願いします。

意見：東京開催となった場合、どのくらいから準備する必要がありますでしょうか。

回答：東京開催を依頼された時点では会場の手配等の準備をする必要があります。

3) (社) 東京都放射線技師会研修センター使用内規集改訂について

文章を一部訂正し、次回の役員研修会（理事会）へ継続審議とする。【全会一致で承認】

意見：2時間を1単位としていますが、準備時間を含めて超過すると使用料金が上がりますでしょうか。

回答：鍵を開けてから閉める時間までと内規しています。そのため、準備時間を含めての時間が使用時間となりますので使用料金は上がります。

意見：現在、研修センターを使用している研修会等の使用料金表を作成して頂きたい。

回答：例として作成します。

4) 新入会員に関する件

新入会3名、転入1名、退会1名。【全会一致で承認】

5) その他

・第24回消化器画像診断情報研究会東京大会の後援依頼について

後援する。【全会一致で承認】

日時：平成23年11月2日（水）

午後6時30分～午後8時00分

場所：（社）東京都放射線技師会事務所

報告・連絡事項

1) 篠原会長

- ・新公益社団法人に移行する際、役員数に代わりがないが役員改選の必要性があり、現在任期途中であるが新たに選挙が必要となります。
- ・公益社団法人移行に伴って新定款での総会は年1回となります、公益社団法人移行は来年度以降となりますで、3月3日（土）に第62回総会を開催します。また今回の総会実行委員の任命は第62回総会のみの任命となります。
- ・予定表の6月23日（土）は仮に公益社団法人第1回定期総会にあたれば、役員選挙があります。

仮の予定となります以下に記載します。

①選挙公示3月1日付（1ヶ月後締め切り）

②4月2日 第2回選挙管理委員会

③5月7日 総会実行委員会

④6月12日 総会資格審査委員会

⑤6月23日 公益社団法人第1回定期総会

となります。ここで新たに総会実行委員を任命し選挙管理委員を各支部から1名選出をお願いすることになります。

2) 専門部

総務

- ・12月3日の役員研修会出席の提出をお願いします。
- ・12月11日に日放技総会が行われます。旧・新代議員の方は出席等をお願いします。
- ・平成24年度地区活動事業計画書の提出は、12月12日が締め切りです。
- ・平成24年3月3日の第62回総会実行委員選出をお願いします。
- ・東京都放射線技師会へ吉田和則著書「骨・関節を『診る』サブノート」を50部寄附して頂きましたので、各地区・支部にて活用のため1部ずつ配布します。

涉外

- ・瑞宝双光章に乙井不二夫氏が選ばれました。

庶務

- ・日放技事業のレントゲン週間が、11月6日より横浜クイーンズサークルにてあります。
- ・理事会を欠席した際は、配布資料についてメールBOXの確認をして下さい。

広報

- ・11/5（土）町田健康まつり、11/6（日）レントゲン週間、11/12（土）13（日）大田フェスタ等の催しがあります。

学術

- ・11月17日（木）に第14回メディカルマネジメント研修会がありますので参加・協力お願いします。
- ・11月22日（火）に第5回NOCセミナーがありますので参加・協力お願いします。

福利

- ・大震災時の対応について各施設へアンケート調査を行います。協力お願いします。

編集

- ・会誌1月号は関連企業の年末年始休暇がともなうため、通常より1週間程度前倒しで編集作業を行いますので、原稿締め切りは11月24日必着でお願いします。また、会誌は12月27日に発送準備を終え翌28日に郵便局に收め、局内にて年内待機としていただき年明けの発送となります。郵便局の年賀発送があり混雑が予想されますが、例年どおりの到着を予定しております。

3) 地区質問、意見に関する事項

第5地区

- ・東京都放射線技師会事務局員の方の業務内容を教えてく

ださい。会員または会員外からの問い合わせにどのように対応されていますか。

→本内容については、専門部または三役に相談・確認し地区会員の方へ返答をして頂きたい。

※第5地区理事が欠席の為、質問の詳細は分かりませんが、今回の内容は理事会の質問にせず、専門部または三役に問い合わせて頂けたら返答を行えた内容であります。各理事と意見交換する必要があるものに対して議題として頂きたい。

今後の予定（総務理事）

- 11月5日（土）：町田健康まつり
- 11月6日（日）：日放技レンゲン週間
- 11月9日（水）：編集委員会
- 11月10日（木）：学術委員会
- 11月11日（金）：城東支部研修会
- 11月12日（土）：大田フェスタ
- 11月13日（日）：大田フェスタ
- 11月16日（水）：第7回五役会
- 11月17日（木）：第14回メディカルマネジメント研修会
- 11月22日（火）：第5回NOCセミナー
- 11月24日（木）：第8回専門部理事会
- 11月28日（月）：総務庶務委員会
- 12月3日（土）：第18回役員研修会・第8回理事会（拡大）

－会員の皆様へ－

会費納入のお願い

経理部

会員の皆様には、平素より社団法人 東京都放射線技師会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今年度の会費納入をお忘れの方は、お手元の払込用紙をご利用のうえ早急に納入していただきますようお願いいたします。

会費納入につきまして平成21年度より定款にもとづき会費未納期間2年以上の会員については、退会処分の手続をいたしておりますのでご注意ください。

ご不明な点は当会事務所までお問い合わせください。

TEL・FAX 03-3806-7724

平成23年度11月期 会員動向

(平成23年11月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
22年度集計	1970	1768	83	19	16	110	-9 + 4	202			5	9	9 - 4
H23.4	1979	1776	12	3	1	5	-1	203					1
H23.5	1983	1779	5			1	-1	204					1
H23.6	2006	1802	23	3	3			204					
H23.7	2013	1809	7	1	1			204					
H23.8	2025	1821	11	1				204					
H23.9	2035	1832	10	3	1	1		203					1
H23.10	2038	1835	3	1		1		203					
H23.11	2041	1838	2	1				203					

新卒新入=★

11月度	新入会(2名)	倉橋 美佳	東京衛生病院	10 地区	
		酒井 浩	横鼻外科胃腸科病院	10 地区	
	転入(1名)	廣田 彰子		4 地区	

お詫びと訂正

「東京放射線」2011年12月号の「平成23年度10月期 会員動向」において、記述の一部に誤りがありました。
お詫び申し上げますとともに訂正いたします。

33ページ 平成23年度10月期 会員動向 転入

誤 栗田 一夫
正 栗井 一夫

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

プラチナ会員制度のお知らせ

社団法人東京都放射線技師会の制度である「プラチナ会員制度」をお知らせいたします。本制度は規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし、下記の特典を設けております。

- ① 本会の年会費優遇
- ② 本会で行う学術研修会、講演会、講習会等の参加費優遇
- ③ 再就職の支援

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民のために、社会のために継続して役立てて頂くことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともプラチナ会員として、ご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年度末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

次号で詳しくお知らせいたします。

The Next Stage of Dual Source CT

呼吸止め不要のCT検査とは?



SOMATOM Definition Flash

Flash speed, Lowest dose

Answers for life.

SIEMENS

www.siemens.co.jp/healthcare/

SOMATOM デフィニション フラッシュ
認証番号: 221AIBZX00003000
クラス分類: 管理医療機器(クラス II)
特定保守管理医療機器: 該当
設置管理医療機器: 該当

Postscript

笑 門来福あつという間の1年が過ぎ、新たな年を秒針が正確に刻み何の疑問もなく迎えました。そういえば最近、ますます時間が経つのが速くなってきたように感じます。やりたいこと、やらなければならぬことが山のようにありますが、時間はみんな24時間、限られた時間を工夫しているのかな。頭の中でスケジュールを組んで進めていても気がつくと随分時間がかかったり、終わっていなかったりして進まないことが増えてきた。これって、同一時間内での仕事量が少ない、すなわち同じ仕事量をこなすのに時間がかかるということ、よって一日がすぐ終わってしまう。思考と体力のバランスがずれているのに気付かない。これって、一種の金縛り? では数十年後にはバランスが取れてくる日もあるのかな。

といえば学生時代のバランスが一番よかったのかな。と書いてみてインターネットで検索してみると出てくる、出てくる心理学の分野でしょうか? 今年の目標必ず1冊読んでみます。

<kegani>



■ 広告掲載社

コニカミノルタヘルスケア(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)島津製作所
シーメンス・ジャパン(株)
医療科学社
(株)日立メディコ
富士フィルムメディカル(株)
GEヘルスケア・ジャパン(株)
第一三共(株)
富士フィルムRIファーマ(株)

東京放射線 第59巻 第11号

平成23年12月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成24年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 社団法人 東京都放射線技師会

発行人 社団法人 東京都放射線技師会

会長 篠原健一
編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
浅野幸
柴山豊喜
平田充弘

プラチナ会員 入会申込書

私は、(社) 東京都放射線技師会プラチナ会員への入会を希望いたします。

社団法人 東京都放射線技師会 殿

氏 名				
氏 名 (カタカナ)				
性 別		男 性	・	女 性
生年月日		年	月	日 生 (歳)
勤務先	勤務先名			
	勤務先所在地	〒 -		
	電 話			
自 宅	現住所	〒 -		
	電 話			
本会よりの通信先		勤務先	・	自宅
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 ・ 診療放射線技師		
		第 回 国家試験合格		
		年 月		
	技師籍登録	厚生労働省 第 号		
		年 月		
技師職歴	年 月			
	年 月			
	年 月			
関連免許	免許名		登録番号	登録年月日
				年 月
				年 月
				年 月
				年 月
備 考				

技師会歴	年入会 (年間)
受 付	年 月 日
理事会承認	年 月 日 印
プラチナ会員入会通知	年 月 日 印